

第10期小清水町農業振興計画

町民共通の財産＝農業をしっかりと次代へ引継ぎましょう

計画期間 令和3年度～令和7年度（5カ年間）

小清水町

はじめに

我が国の農業を取り巻く環境は、農地の減少、農業の担い手の減少や高齢化、気候変動、伝染性疾病、パンデミック、国際貿易情勢の変動に伴う安価な輸入農産物等、国内食料の安定供給に影響を及ぼすリスクの顕在化により、依然としてきびしい状況があります。

本町農業においても、長年にわたり取り組んできた「健康な土づくり」を基本とした耕畜連携による循環型農業（クリーン農業）により、安全・安心で良質な食料の安定供給をはじめ、水資源の涵養や自然環境の保全、美しい景観の形成など、多面的な機能の発揮を通じて、町民の健全な暮らしを支えるとともに、食品加工や観光など幅広く他の産業とも関連して、本町の基幹産業として重要な役割を發揮しています。豊かな緑や良好な景観は、町民全体に憩いと心身の癒しをもたらす休養・余暇活動の場であると同時に、子孫が、自然や伝統文化に触れ親しみ、農作業などを体験することによって、食べることの意味や生命の大切さを理解するための教育の場としても大きな役割を担っていますが、農業の生産活動に起因する環境問題や特定病害虫の発生の増加、農業・農村を支える担い手の減少や高齢化の進行による労働力問題など、様々な課題にも直面しております。

これらの諸課題への対策は、短期的・中長期的な課題解決の視点を持ち、魅力ある農業経営環境づくりのための農業振興・農地保全施策を推進していかなければなりません。

今後も当町の農業・農地が町民生活にうるおいと豊かさをもたらし、この街に暮らしてよかつたと感じていただくために、令和3年度以降の新たな5カ年計画「小清水町農業振興計画」を策定いたしました。この計画は、当町の農業・農地を次世代に引き継ぐための施策の方向性を明らかにするものであり、当町における農業関係者の共通の指針として活用していただければと考えています。

おわりに、本計画策定にあたり協力を頂きました関係機関の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和4年 2 月

小清水町長 久保弘志

目 次

第1 小清水の農業の現状と課題	p 1～p 2
1. 農業を取り巻く環境	
2. 小清水町農業の課題	
1) 多様な担い手の育成と確保	
2) 農業基盤の整備	
3) 農業経営の安定化・多角化	
4) 環境と調和した農業の推進	
5) 健康な土づくりの推進	
6) 農村環境の整備	
第2 農業振興計画の基本構想	p 3
第3 農業振興計画の基本目標	p 3～ p 13
1. 基本目標	
1) 担い手の育成確保	
2) 農業生産基盤の整備	
3) 農業経営の安定化	
4) 環境と調和した循環型農業の推進	
5) 土づくりの推進	
6) 農村生活環境の整備	
2. 目標とする農業生産と所得	
3. 農業概況と目標とする指標等	
1) 農業経営の現状と推移	
2) 目標年次における主要な指標	
第4 主要施策の展開方向	p 14～ p 17
1) 担い手の育成確保	
2) 農業生産基盤の整備	
3) 農業経営の安定化	
4) 環境と調和した循環型農業の推進	
5) 土づくりの推進	
6) 農村生活環境の整備	
☆ 取り組むべき主要施策の体系	

第5 主要作目の生産振興の方向	p 1 8 ~ p 2 0
1. 畑作	
2. 野菜	
3. 飼料作物	
4. 酪農	
5. 肉用牛	
第6 計画の推進体制	p 2 1
第7 目標とする農業経営指標	p 2 2 ~ p 4 4
☆ 経営形態別一覧表	
1. 畑作専業経営Ⅰ型	
2. 畑作専業経営Ⅱ型	
3. 畑作野菜複合経営Ⅰ型	
4. 畑作野菜複合経営Ⅱ型	
5. 畑作野菜複合経営Ⅲ型	
6. 畑作肉牛複合経営型	
7. 酪農畑作複合経営型	
8. 酪農専業経営型	
9. 畑作専業経営コントラ利用型	
10. 野菜専業経営型	

第1 小清水町の農業の現状と課題

1. 農業を取り巻く環境

- 本町農業は、安全・安心で良質な食料の安定的な供給をはじめ、地域の環境保全、美しい景観の形成などの多面的な機能の発揮を通じ、町民の健全な暮らしを支えるとともに、食品加工や観光など幅広い産業と結び付き、地域の基幹産業として重要な役割を發揮しています。
しかし、一方では、規模拡大や生産性の向上が重視される中で、農業の生産活動に起因する環境問題の顕在化や特定病害虫の発生の増加、農業・農村を支える担い手の減少や高齢化の進行による労働力問題など、様々な課題に直面しています。
- このような状況において、国は「農林水産業・地域の活力創造プラン」で、農林水産業の競争力を強化する産業施策と、農業・農村の多面的機能の維持・發揮を図る地域施策を車の両輪として推し進め、農業・農村の所得を10年で倍増させることを目指しています。
- 国が策定した「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月）では、食料の安定供給の確保、多面的機能の發揮、農業の持続的発展及び農村の振興にむけて、多様な主体間で連携・協働しながら施策を推進することとしています。また、食料・農林水産業の生産性向上と持続性の両立を実現させるため、中長期的な観点から戦略的に取り組む政策方針として「みどりの食料システム戦略」を策定し、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組と環境負担軽減のイノベーションを推進しています。
- 近年、農業を取り巻く環境や農業政策の枠組みが大きく変化している中、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP11）始め、日米貿易協定や日EU経済連携協定（日EU・EPA）といったFTAやEPAの締結による農畜産物の価格下落に伴う農業所得の低下や、大規模自然災害やパンデミック等の不測の事態による国際環境の急激な変化に対応し、持続可能で力強い本町農業を築いていくためには、これまでの農業のあり方を見つめ直し、消費者と生産者との信頼関係を基本とした「食」の構築や環境との調和を重視した上で、農業者が将来に向けて希望と誇りを持って取り組める先駆的な方策を取り入れた「小清水型農業」の確立に努めることが重要となっています。
- この農業振興計画は、このような考え方に即して、令和2年度を最終の計画期間としている第9期農業振興計画を見直し、本年からの新たな5カ年間を計画期間とする本町の第10期農業振興計画であります。

2. 小清水町農業の課題

1) 担い手の育成確保

農業従事者の減少などにより後継者の不足が懸念されるとともに、経営規模の拡大が図られる中、新たな担い手の育成と労働力の確保が喫緊の課題である。

2) 農業生産基盤の整備

農業の生産基盤である農地の改良・保全を促進するとともに、意欲ある担い手に対して、計画的かつ円滑な農地の利用集積を図る必要があります。

3) 農業経営の安定化

○ 国際的な貿易協定の進捗により、主要畑作物3品の生産抑制基調が懸念され、大幅な収量の増加が見込めない中、低コスト・ICT機器等の省力化技術の導入や経営の複合化・多角化など地域の創意と工夫を活かした取り組みを推進し、経営のリスク分散を図る取り組みが必要です。

4) 環境と調和した小清水式循環型農業の推進

「小清水ブランド」推進のため、より一層のPR効果が期待できる「NKゆう水」を活用した土づくりの継続しつつさらなる研究分析を進めるとともに、耕種農家と畜産農家が連携した小清水式循環型農業の継続により持続可能な農業の実践が必要であります。

5) 土づくりの推進

永年にわたる営農活動により、硝酸性窒素の蓄積や土壌病害虫の増加が懸念されていることから、土づくりの励行を再度実践する必要があります。

また、ジャガイモシロシストセンチュウをはじめとした各種病害虫等の、侵入及び蔓延防止対策についても農業者と関係機関が共通の認識とし、全町が一丸となって取り組んでいく必要があります。

6) 農村生活環境の整備

農村を生活の場としての視点でとらえ、過疎化・高齢化に対応した定住環境の整備を進める一方、恵まれた自然環境を生かした、うるおいのある農村景観の形成を図っていく必要があります。

第2 農業振興計画の基本構想

農業従事者の減少やTPP11などの国際貿易協定への参加推進による厳しい農業情勢の中にあつて、当町においては、「健全な土づくり」に立脚した循環型農業の確立とともに、消費者ニーズに即応できる生産体制を整備した中で、安全で高品質な農畜産物の提供が求められています。

さらに、「食料」と「環境」の時代と言われる21世紀において、農業の役割や価値を認め合い町民共通の財産として、次世代へしっかり引き継いでいかなければなりません。

第3 農業振興計画の基本目標

1. 基本目標

先人たちが築き上げてきたこれまでの小清水の農業を振り返り、誇りを持って次代につなぐ農業・農村の構築を基本理念として、農業者をはじめ、地域住民の主体的な取り組みを基本に、次の点を目標として施策の展開を図っていきます。

1) 担い手の育成確保

- ・国際化時代に対応した営農改善や地域づくりに意欲的に取り組み、高度な営農技術と経営管理能力を備えた、優れた担い手の育成・確保を図ります。
- ・国等の各種制度や町の新規就農者支援制度の利用推進、農業実習生や農業に興味を持つ者の積極的な受け入れ、農業後継者配偶者対策、アグリハートセンターでの新規就農者や農業者を対象とした担い手養成学校の運営などを積極的に推進し、今後の地域の農業を担う人材を確保することで、将来にわたり持続可能で力強い農業経営をしていくための基盤構築を図ります。
- ・農作業支援事業の活用や産地間連携、短期雇用など多様な雇用形態による労働力確保と農福連携や農観連携による幅広い分野からの人材発掘により担い手の確保を図る。
- ・意欲ある担い手に円滑な農地の利用集積を図ることとし、特に、小規模農家の経営安定のための規模拡大を積極的に推進します。
- ・経営のパートナーとしての女性や高齢者の経験や知識を生かした活動を支援していきます。

2) 農業生産基盤の整備

- ・農業は本町の基幹産業であるとともに、重要な観光資源、環境資源であることから、国・道の各種事業を活用しながら、圃場整備や農道、かんがい排水施設整備、土壌改良など生産基盤の整備を進め、優良農用地の保全を図ります。

- ・関係機関等で所有している農業関係情報を一元化して管理し、農業振興のあらゆる状況での有効活用を図ります。

3) 農業経営の安定化の推進

- ・施肥量の見直し、ICT技術の導入による栽培技術の向上などにより、一層のコスト低減及び省力化を図り、収益性の高い農業の確立を目指します。
- ・6次産業化や観光と結びつけた経営の多角化の推進や、野菜類の作付を大幅に増やすなど、多様な農業経営の推進を図ります。
- ・コントラクターやTMRセンターなどの経営支援システムの利用促進や農作業支援組織の活用による労働省力化を推進します。
- ・営農におけるコストの把握は勿論のこと、市場や消費者の評価・動向を念頭に置いた経営を実践できる農家の育成を促進し、経営の安定化を図ります。
- ・種子馬鈴しょの優良規格安定供給奨励や種子小麦・豆類の定期防除にかかる費用助成を実施し、良質な種子生産をすることで、高品質且つ安定した農産物の生産を図ります。
- ・高収益作物の栽培を推進し、農作業支援事業の活用とICT技術の導入により省力化を図ることにより作付面積を拡大させることで、収益性を高め、農業従事者の所得向上を図ります。
- ・鳥獣被害の増加に伴う農作物被害防止対策として、侵入防止や駆除強化対策を推進します。

4) 環境と調和した小清水式循環型農業の推進

- ・土づくりにはじまるクリーン農業の推進やNKゆう水など、小清水式循環型農業の取り組みを広く内外へ情報発信し、「小清水ブランド」の知名度の向上を図る。
- ・引き続き耕種農家と畜産農家が連携した小清水式循環型農業を実施し、さらに発展させることにより持続可能な開発目標（SDGs）の目標の一つである持続可能な農業生産を進めるため、環境と調和した農業を推進します。

5) 土づくりの推進

- ・ゆう水を活用した健康な土づくり（堆肥づくり）を奨励し、環境に配慮したクリーン農業を推進します。
- ・適量施肥、「NKゆう水」の活用と研究分析、馬鈴しょ、てん菜、小麦の畑作3品のほか、豆類・野菜・緑肥作物等を組み入れた輪作体系を推進し、土壌病害虫の防除、地力の維持増進を図ります。
- ・ジャガイモシロシストセンチュウやコムギ縞萎縮病をはじめとした各種病害虫等について、土壌分散防止対策や検査体制の維持による対策強化を支援し、侵入及び蔓延防止対策に努めます。

6) 農村生活環境の整備

- ・アグリハートセンター（農業振興拠点施設）において、地域の農畜産物の加工品の製造・販売により付加価値を高め、人々の交流により農業に対する知識と理解を深めることで農業の振興を図ることにより地域農業の持続可能な発展と豊かで潤いのある農業・農村づくりを行っていきます。

- ・農村地域における自然環境の保全を図るとともに、生活道路、農業集落排水施設・合併浄化槽の整備などを促進し、自然環境と調和した魅力的な農村の価値観を創出します。

2. 目標とする農業生産と所得

農業の担い手が目標とする、町内の農業生産額は、14,675百万円、同じく生産農業所得額は、8,218百万円とし、営農類型ごとにそれぞれ目標を定めることとします。

3. 目標とする指標等

1) 農業経営の現状と推移

■農家戸数と人口

農業基本調査(各年2/1現在)、平成12・17・22・27・令和2年は農林業センサス

区 分	総農家数	販売農家数	自給的農家数	専業農家数	兼業農家数			総農家人口	満16歳以上の人口	150日以上従事者数	
					計	第1種	第2種			農家数	人口
平成 10年	434	430	4	302	132	123	9	2,149	1,745	—	1,039
11	424	419	5	307	117	101	16	2,118	1,719	414	1,099
					主業		副業				
12	421	413	8		401		12	2,093	1,743	411	1,026
										農業就業人口	
17	392	386	6		370		16	—	—		1,205
22	371	363	8		348		15	—	—		1,124
27	338	331	7		320		11	—	—		1,018
令和 2	293	287	6		271		16	—	—		1,366

■経営耕地規模別農家数 (単位:ha)

業基本調査(各年2/1現在)、平成12・17・22・27・令和2年は農林業センサス

区 分	総数	例外規定	1未満	1～2.99	3～4.99	5～7.49	7.5～9.99	10～14.99	15～19.99	20～29.99	30～39.99	40以上
平成 10年	434	5	12	4	5	4	8	56	81	187	54	18
11	424	4	14	4	3	3	10	51	85	177	53	20
12	421	1	19	5	4	2	8	47	77	178	55	25
17	390	5	2	3	4	2	18	61	100	151	27	17
22	371	4	10	6	3	9		65		152	122	
27	342	4	6	5	3	9		41		132	142	
令和 2	294	1	3	3	1	6		28		98	154	

■農産物販売金額規模別農家数

農林業センサス

区 分	販売なし	100万円未満	100万円～150万円	150万円～200万円	200万円～300万円	300万円～500万円	500万円～700万円	700万円～1,000万円	1,000万円以上	計
昭和 60年	14	7	5	3	6	8	6	36	461	546
平成 2年	1	11	6	3	2	6	10	29	434	502
7	8	17	3		1	7	10	10	413	469
12	1	10	1		2	4	5	8	382	413
17	1	10	2		0	5	3	7	362	390
22	5	11	2		3	4	7	32	307	371
27	5	6	2		1	6	2	17	303	342
令和 2	2	5	4			4	7		272	294

■家畜飼養農家数・頭数の概況

飼養頭羽数調

区 分	乳用牛		肉用牛		豚		にわとり	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数
平成 27年	35	4,040	28	1,642	0	0	1	6,500
28	35	3,974	27	1,831	0	0	1	5,000
29	36	4,088	32	1,665	0	0	1	2,000
30	36	4,204	28	1,696	0	0	1	5,000
令和 元	37	4,213	28	1,735	0	0	1	2,000
2	35	4,136	25	1,909	0	0	0	0

■農産物の作付・収穫量の概況

北海道農林水産統計年報

区 分	面 積 (ha)						収 穫 量 (t)					
	27	28	29	30	元	2	27	28	29	30	元	2
麦 類	2,850	2,840	2,850	2,860	2,910	2,860	21,600	20,000	17,600	13,600	22,900	19,300
い も 類	2,210	2,130	2,160	2,120	2,160	2,250	100,600	93,800	88,300	90,000	90,200	101,900
工芸農作物	2,710	2,720	2,700	2,680	2,770	2,790	210,000	202,400	207,400	200,800	222,200	211,500
大 豆	245	255	291	276	294	286	711	691	844	792	942	742
野菜その他	2,385	2,455	2,399	2,464	2,266	2,214	—	—	—	—	—	—
総 数	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	332,911	316,891	314,144	305,192	336,242	333,442

■農業粗生産額の状況

農協総代会資料等より算出

(単位:百万円) 農産物 畜産物

平成 28 年	11,921	
	3,189	
29	10,919	
	3,278	
30	10,861	
	3,325	
元	12,162	
	3,136	
2	11,363	
	3,206	

■農業集落排水事業の状況

建設課(各年3月31日現在)

年 度	排水区域内戸数	排水区域内人口	年間排水量	雑排水水洗化戸数	雑排水水洗化人口
	戸	人	t	戸	人
平成 27 年	1,561	3,182	359,839	1,500	3,081
28	1,569	3,159	360,808	1,512	3,067
29	1,564	3,115	355,636	1,508	3,019
30	1,535	3,046	358,719	1,482	2,957
令和 元	1,501	2,972	345,343	1,448	2,883
2	1,505	2,931	332,991	1,454	2,847

■年別気象概況

気象庁

区 分	気 温				平 均	降 水 量		
	最 高		最 低			総 量	1日最多量	
	最高極	左の月日	最低極	左の月日			量	左の月日
28年	29.8	8月7日	-22.6	2月25日	6.4	1,018.5	80.0	8月9日
29年	35.8	7月5日	-19.9	1月13日	6.4	714.0	52.5	10月23日
30年	33.0	8月1日	-21.4	1月30日	6.7	910.5	54.5	3月9日
元年	36.7	5月26日	-25.0	2月9日	7.0	539.5	52.5	8月9日
2年	35.4	8月11日	-21.1	2月27日	7.1	530.0	43.5	9月18日

■令和2年気象状況

気象庁

区 分	気 温			降 水 量		積 雪		平均風速	月間日照時間
	平均	最高値	最低値	月 量	最大日量	降雪量	最深積雪		
1月	-5.5℃	-1.6℃	-10.9℃	19.0mm	8.0mm	57cm	13cm	3.2m/s	118.9h
2月	-6.5	-2.5	-12.5	19.5	6.0	80	27	3.0	119.2
3月	0.6	4.7	-4.0	39.0	22.5	46	44	3.8	166.4
4月	3.7	8.6	-1.0	65.5	17.0	6	5	3.6	153.0
5月	10.7	16.7	5.5	50.5	12.5	-	-	3.9	185.3
6月	15.6	20.3	11.5	63.0	15.0	-	-	3.4	114.7
7月	18.2	23.4	14.5	56.0	14.0	-	-	3.3	174.4
8月	20.7	26.5	16.1	25.0	8.0	-	-	3.6	187.7
9月	17.5	22.7	13.2	90.5	43.5	-	-	3.7	155.3
10月	11.0	16.4	5.9	55.5	13.0	-	-	3.3	149.6
11月	3.9	8.2	-0.5	36.0	6.0	7	5	3.2	103.6
12月	-5.1	-0.5	-10.6	10.5	4.0	62	20	2.7	143.9

■人口の推移

国勢調査

種別 年次	世帯数	人 口			1世帯 当たり	備考	種別 年次	世帯数	人 口			1世帯 当たり	備考
		総数	男	女					総数	男	女		
大正14年	1,351	7,347	3,897	3,450	5.4	第2回国勢調査	50年	2,223	8,266	4,066	4,200	3.7	第12回国勢調査
昭和5年	1,487	8,465	4,437	4,028	5.7	3	55年	2,272	7,836	3,813	4,023	3.4	13
10年	1,670	9,865	5,075	4,790	5.9	4	60年	2,175	7,347	3,545	3,802	3.4	14
15年	1,791	11,214	5,822	5,392	6.3	5	平成2年	2,090	6,758	3,270	3,488	3.2	15
22年	1,684	10,065	5,065	5,000	6.0	6	7年	2,080	6,422	3,092	3,330	3.1	16
25年	1,824	10,928	5,525	5,403	6.0	7	12年	2,142	6,126	2,934	3,192	2.9	17
30年	1,933	11,493	5,777	5,716	5.9	8	17年	2,140	5,753	2,726	3,027	2.7	18
35年	2,146	11,517	5,818	5,699	5.4	9	22年	2,069	5,358	2,545	2,813	2.6	19
40年	2,301	10,457	5,197	5,260	4.5	10	27年	2,033	5,086	2,416	2,670	2.5	20
45年	2,246	9,173	4,463	4,710	4.1	11	令和2年	1,943	4,621	2,208	2,413	2.4	21

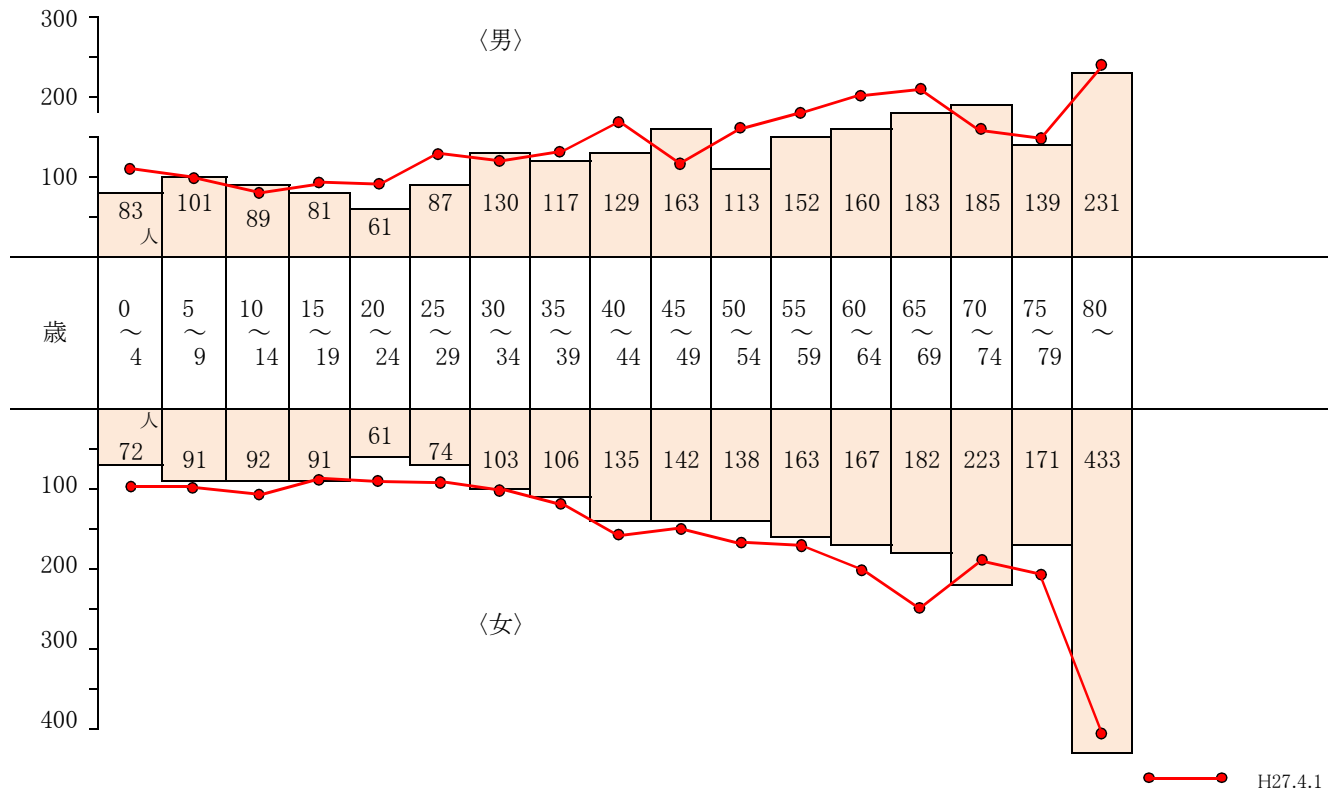
■人口の動態

各年度3月31日現在 住民基本台帳

種別 年次	世帯数	人 口	自 然 動 態			社 会 動 態			そ の 他			差引 増減
			出生	死亡	増減	転入	転出	増減	増加	減少	増減	
28	2,150	5,047	36	65	△ 29	154	186	△ 32	1	4	△ 3	△ 64
29	2,136	4,942	32	75	△ 43	154	214	△ 60	2	3	△ 1	△ 104
30	2,108	4,844	31	83	△ 52	126	167	△ 41	15	14	1	△ 92
元	2,065	4,732	34	101	△ 67	125	167	△ 42	2	5	△ 3	△ 112
2	2,063	4,648	24	87	△ 63	147	168	△ 21	2	2	0	△ 84

■年齢別人口構成

住民基本台帳(令和3年4月1日)



■産業分類別人口

企画財政課・国勢調査

区分	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	
総数	3,908	100.0	3,736	100.0	3,605	100.0	3,358	100.0	3,085	100.0	2,868	100.0	2,724	100.0	
一次産業	農業	1,574	40.3	1,445	38.7	1,331	36.9	1,215	36.2	1,265	41.0	1,150	40.1	1,071	39.3
	林業	130	3.3	95	2.5	59	1.7	29	0.9	31	1.0	34	1.2	35	1.3
	漁業	13	0.3	11	0.3	6	0.2	11	0.3	11	0.4	15	0.5	15	0.6
	小計	1,717	43.9	1,551	41.5	1,396	38.8	1,255	37.4	1,307	42.4	1,199	41.8	1,121	41.2
二次産業	鉱業					1	0.0	3	0.1	4	0.1	1	0.0	2	0.1
	建設業	345	8.8	387	10.4	372	10.3	330	9.8	213	6.9	154	5.4	151	5.5
	製造業	274	7.0	265	7.1	235	6.5	180	5.4	141	4.6	129	4.5	152	5.6
	小計	619	15.8	652	17.5	608	16.9	513	15.3	358	11.6	284	9.9	305	11.2
三次産業	卸・小売業	526	13.5	531	14.2	508	14.1	445	13.3	329	10.7	286	10.0	264	9.7
	金融・不動産・保険業	64	1.6	51	1.4	39	1.1	36	1.1	31	1.0	41	1.4	36	1.3
	運輸・通信業	150	3.8	128	3.4	163	4.5	167	5.0	121	3.9	146	5.1	112	4.1
	電気・ガス・水道業	5	0.1	6	0.2	4	0.1	3	0.1	4	0.1	0	0.0	3	0.1
	サービス業	678	17.4	650	17.4	707	19.6	766	22.8	806	26.1	790	27.5	770	28.3
	公務	149	3.8	167	4.5	177	4.9	167	5.0	129	4.2	122	4.3	113	4.1
小計	1,572	40.2	1,533	41.0	1,598	44.3	1,584	47.3	1,420	46.0	1,385	48.3	1,298	47.6	

※総数には「分類不能」を含む。

2) 目標年次における主要な指標

1. 主要な農業指標

内 訳	単 位	基準年(R2)	目標年(R7)	増減率
1) 農 家 戸 数	戸	294	253	86.0
2) 耕 地 面 積	ha	10,400	10,400	100.0
3) 農 業 生 産 額	百万円	14,569	14,675	100.7
4) 生 産 農 業 所 得 額	百万円	8,159	8,218	100.7
5) 普 通 畑	ha	9,759	9,847	100.9
6) 採 草 放 牧 地	ha	32	32	100.0
7) て ん 菜	ha	2,790	2,800	100.4
8) 馬 鈴 しょ	ha	2,250	2,300	102.2
9) 麦 類	ha	2,860	2,860	100.0
10) 豆 類	ha	360	375	104.2
11) 野 菜	ha	493	520	105.5
12) 牧 草	ha	609	521	85.6
13) 飼 料 作 物	ha	442	427	96.6
14) そ の 他	ha	564	565	100.2
15) 乳 用 牛	頭	4,136	4,360	105.4
16) 肉 用 牛	頭	1,909	1,829	95.8
17) 豚	頭	0	0	0.0

2. 農業指標

内 訳	単 位	基準年(R2)	目標年(R7)	増減率	
耕 地 面 積	ha	10,400	10,400	100.0	
農 家 戸 数	自 給 的 農 家	戸	6	5	83.3
	主 業 農 家	戸	271	234	86.3
	副 業 農 家	戸	16	14	87.5
	計	戸	293	253	86.3
農 業 就 業 人 口	人	1,366	1,503	110.0	
農 業 生 産 額	百万円	14,569	14,675	100.7	
内 訳	農 産	百万円	11,363	11,784	103.7
	畜 産	百万円	3,206	2,891	90.2
生 産 農 業 所 得 額	百万円	8,159	8,218	100.7	
一 戸 当 平 均	耕 地 面 積	ha	26.5	41.1	155.0
	就 業 人 口	人	2.6	5.9	226.9
	農 業 生 産 額	千円	28,251	58,004	205.3
	生 産 農 業 所 得 額	千円	16,714	32,482	194.3
就業者1人当たり生産農業所得	千円	6,044	5,469	90.5	

3. 主要作物面積及び飼養頭数

内 訳				単 位	基準年(R2)	目標年(R7)	増減率
農	麦類	小麦	秋まき小麦	ha	2,500	2,500	100.0
			春まき小麦	ha	360	360	100.0
		計		ha	2,860	2,860	100.0
	豆類	大豆		ha	286	290	101.4
		小豆		ha	30	85	283.3
		計		ha	316	375	118.7
	馬鈴しょ	澱粉原料用		ha	1,790	1,800	100.6
		食用・加工用		ha	460	500	108.7
		計		ha	2,250	2,300	102.2
	てん菜		ha	2,790	2,800	100.4	
産	野菜	にんじん		ha	151	170	112.6
		ごぼう		ha	69	70	101.4
		たまねぎ		ha	88	90	102.3
		アスパラ		ha	16	20	125.0
		その他野菜		ha	169	170	100.6
		計		ha	493	520	105.5
	牧草		ha	609	521	85.6	
	飼料作物		ha	442	427	96.6	
	その他		ha	564	565	100.2	
	合計		ha	10,324	10,368	100.4	
畜産	乳用牛		頭	4,136	4,360	105.4	
	肉用牛		頭	1,909	1,829	95.8	
	豚		頭	0	0	0.0	

4. 農産物の生産計画

内 訳			基 準 年 (R 2)				目 標 年 (R 7)				増 減 率 (目標/基準)			
			面積(ha)	10a当り 収量(kg)	生産量(t)	生産額 (千円)	面積(ha)	10a当り 収量(kg)	生産量(t)	t当単価 (円)	生産額 (千円)	面 積	10a当り 収 量	生 産 額
麦 類	小 麦	秋まき小麦	2,500	708	17,700	2,896,448	2,500	720	18,000	150,000	2,700,000	100.0	101.7	93.2
		春まき小麦	360	486	1,750	279,482	360	540	1,944	180,000	349,920	100.0	111.1	125.2
	計	2,860	—	19,450	3,175,930	2,860	—	19,944	—	3,049,920	100.0	—	96.0	
豆 類	大 豆	286	270	772	230,204	290	300	870	330,000	287,100	101.4	111.1	124.7	
	小 豆	74	270	200	51,290	85	270	230	300,000	69,000	114.9	100.0	134.5	
	計	360	—	972	281,494	375	—	1,100	—	356,100	104.2	—	126.5	
馬 鈴 薯	澱粉原料用	1,790	3,984	71,314	2,195,603	1,800	4,250	76,500	31,000	2,371,500	100.6	106.7	108.0	
	食用・加工用	460	5,975	27,486	457,646	500	3,600	18,000	31,000	558,000	108.7	60.2	121.9	
	計	2,250	—	98,800	2,653,249	2,300	—	94,500	—	2,929,500	102.2	—	110.4	
て ん 菜			2,790	7,581	211,500	3,581,406	2,800	7,600	212,800	18,000	3,830,400	100.4	100.3	107.0
野 菜	に ん じ ん	151	4,122	6,224	758,139	170	3,300	5,610	130,000	729,300	112.6	80.1	96.2	
	ご ぼ う	69	2,396	1,653	314,312	70	2,300	1,610	190,000	305,900	101.4	96.0	97.3	
	た ま ね ぎ	88	6,817	5,999	241,323	90	5,000	4,500	50,000	225,000	102.3	73.3	93.2	
	ア ス パ ラ	16	273	44	48,167	20	250	50	1,000,000	50,000	125.0	91.6	103.8	
	そ の 他 野 菜	169	—	0	103,456	170	—	—	—	104,069	100.6	—	100.6	
計			493	—	13,920	1,465,397	520	—	11,770	—	1,414,269	105.5	—	96.5
牧 草			609	3,200	19,488	—	521	3,200	16,672	—	—	85.6	100.0	—
飼 料 作 物			442	5,400	23,868	—	427	5,400	23,058	—	—	96.6	100.0	—
そ の 他			564	—	—	205,111	565	—	—	—	203,986	100.2	—	99.5
合 計			10,368	—	—	11,362,587	10,368	—	—	—	11,784,175	100.0	—	103.7

5. 畜産物の生産計画

内 訳	単 位	基 準 年 (R2)		目 標 年 (R7)			増 減 率	
		生産量	生産額	生産量	単 価	生産額	生産量	生産額
牛 乳	t	21,366	2,067,085	22,058	88	1,941,104	103.2	93.9
廃 用 牛	頭	474	83,971	430	150	64,500	90.7	76.8
若 牛・初 妊	頭	533	264,089	450	450	202,500	84.4	76.7
和 牛	頭	608	331,847	460	550	253,000	75.7	76.2
仔 牛	頭	1,262	153,722	1,200	120	144,000	95.1	93.7
肉 用 素 牛	頭	546	147,331	600	240	144,000	109.9	97.7
肥 育 牛	頭	260	135,171	220	520	114,400	84.6	84.6
肉 豚	頭	0	0	0	0	0	0.0	0.0
馬 匹	頭	42	23,122	50	550	27,500	119.0	118.9
計		-	3,206,338	-	-	2,891,004	-	90.2

第4 主要施策の展開方向

1) 担い手の育成確保

- 国等の各種制度や町の新規就農者支援制度の利用促進、農業実習生や農業に興味を持つ者の積極的な受け入れ、農業後継者配偶者対策、アグリハートセンターでの新規就農者や農業者を対象とした担い手養成学校の運営など積極的に推進し、今後の地域の農業を担う人材を確保し、将来にわたり持続可能で力強い農業経営をしていくための基盤構築を図ります。
- 農作業支援組織の活用や産地間連携、短期雇用など多様な雇用形態による労働力確保と農福連携や農観連携による幅広い分野からの人材発掘により担い手の確保を図ります。
- 関係機関と十分に連携を取った中で、農地斡旋業務を展開し、意欲ある担い手の経営拡大を支援します。
- 女性の柔軟な感性や高齢者の経験や知識を、農業生産に活かし、家族経営の強みが発揮される経営体づくりを推進します。

2) 農業生産基盤の整備

- 国や道と連携し農地の区画形状の整備や排水対策、土層改良を推進するとともに、農業水利施設等の適正な維持管理を行い、農地の保全を図ります。
- 関係機関・団体で所有している農業関係情報を一元化して管理（※図1）し、農業振興のあらゆる状況で有効活用を図ります。
- 将来の作付体系や出荷体制を十分に考慮して、集出荷施設や農道の整備を計画的に進めます。

3) 農業経営の安定化

- 的確な土壌診断と「NKゆう水」の活用などにより、施肥量を見直すなど、コストの低減を図ります。
- 6次産業化や観光と結びついた経営の多角化を推進するとともに、コントラクターやTMRセンターなどの経営システムの利用促進や、農作業支援組織の活用による労働省力化を推進します。
- 消費者・実需者等の評価・同行を念頭に置いた経営を实践できる生産者の育成を促進し、経営の安定化を図ります。
- 種子馬鈴薯の優良規格安定供給奨励や種子小麦・豆類の定期防除にかかる費用助成を実施し、良質な種子生産をすることで、高品質且つ安定した農産物の生産を図ります。

■高収益作物の栽培を推進し、農作業支援事業の活用とICT技術の導入により省力化を図ることにより面積を拡大させることで、収益性を高め、農業従事者の所得向上を図ります。

■鳥獣被害の増加に伴う農作物被害防止対策として、侵入防止や駆除強化対策を推進します。

4) 環境と調和した小清水式循環型農業の推進

■土づくりにはじまるクリーン農業の推進やNKゆう水など、小清水式循環型農業（※図2）の取り組みを広く内外へ情報発信し、「小清水ブランド」の知名度向上を図ります。

■引き続き耕種農家と畜産農家が連携した小清水式循環型農業を実施し、さらに発展させることにより持続可能な開発目標(SDGs)の目標の一つである持続可能な農業生産を進めるため、環境と調和した農業を推進する。

5) 土づくりの推進

■ゆう水の農地還元により健康な土づくりを推進しますが、ゆう水還元にとどまらず、その後の土壌分析により、バランスの保たれた土づくりを推進します。

■将来にわたり永続的に営農可能な地力の維持を目的に、目先の収益にとらわれない、計画的な輪作の実施が必要となっていることから、畑作3品に加え、豆類・野菜・緑肥作物等を積極的に取り入れ、早急に4年輪作体系（※図3）を推進します。

■輪作体系継続のため、種子馬鈴しょの安定確保を目指します。

■ジャガイモシロシストセンチュウやコムギ縮萎病をはじめとした各種病害虫等について、全町が一丸となって対策に取り組んでいくことが必要になっていることから、土壌分散防止や検査体制の維持等の対策強化を支援し、侵入及び蔓延防止対策の実施を図ります。

6) 農村生活環境の整備

■アグリハートセンター（農業振興拠点施設）において、地域の農畜産物の加工品の製造・販売により付加価値を高め、人々の交流により農業に対する知識と理解を深めることで農業の振興を図ることにより地域農業の持続可能な発展と豊かで潤いのある農業・農村づくりを行っていきます。

■農村地域における自然環境の保全を図るとともに、生活道路、農業集落施設、合併浄化槽の整備、自然環境と調和した魅力的な農村の価値観を創出します。

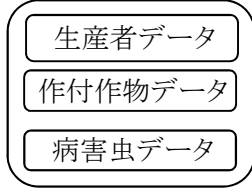
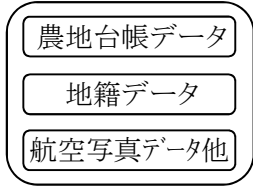
主な施策のイメージ図

図1 農業関係情報の一元化

【現在】

☆ 役場保管データ

☆ 農協保管データ



【今後】

☆ 新たなデータベースで一元管理
各種データを結合して利用することが可能

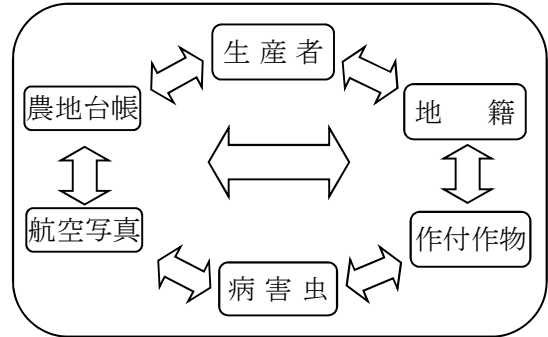


図2 資源循環型農業イメージ

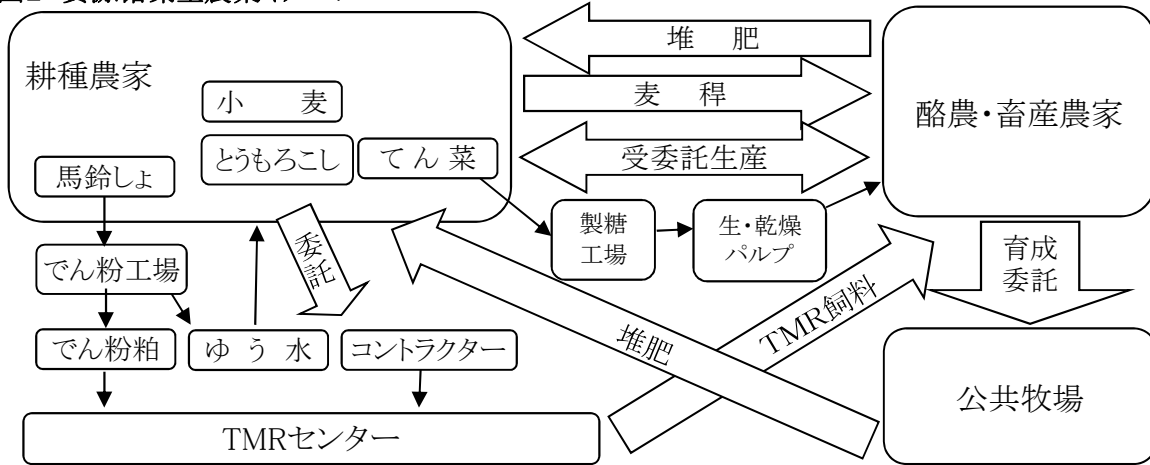
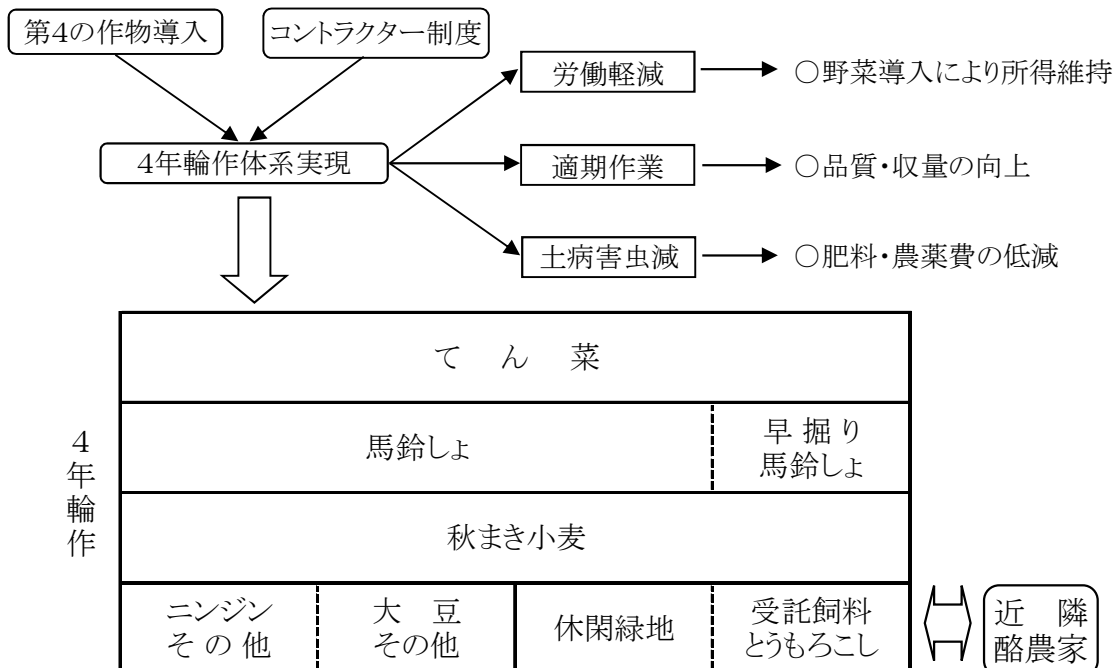
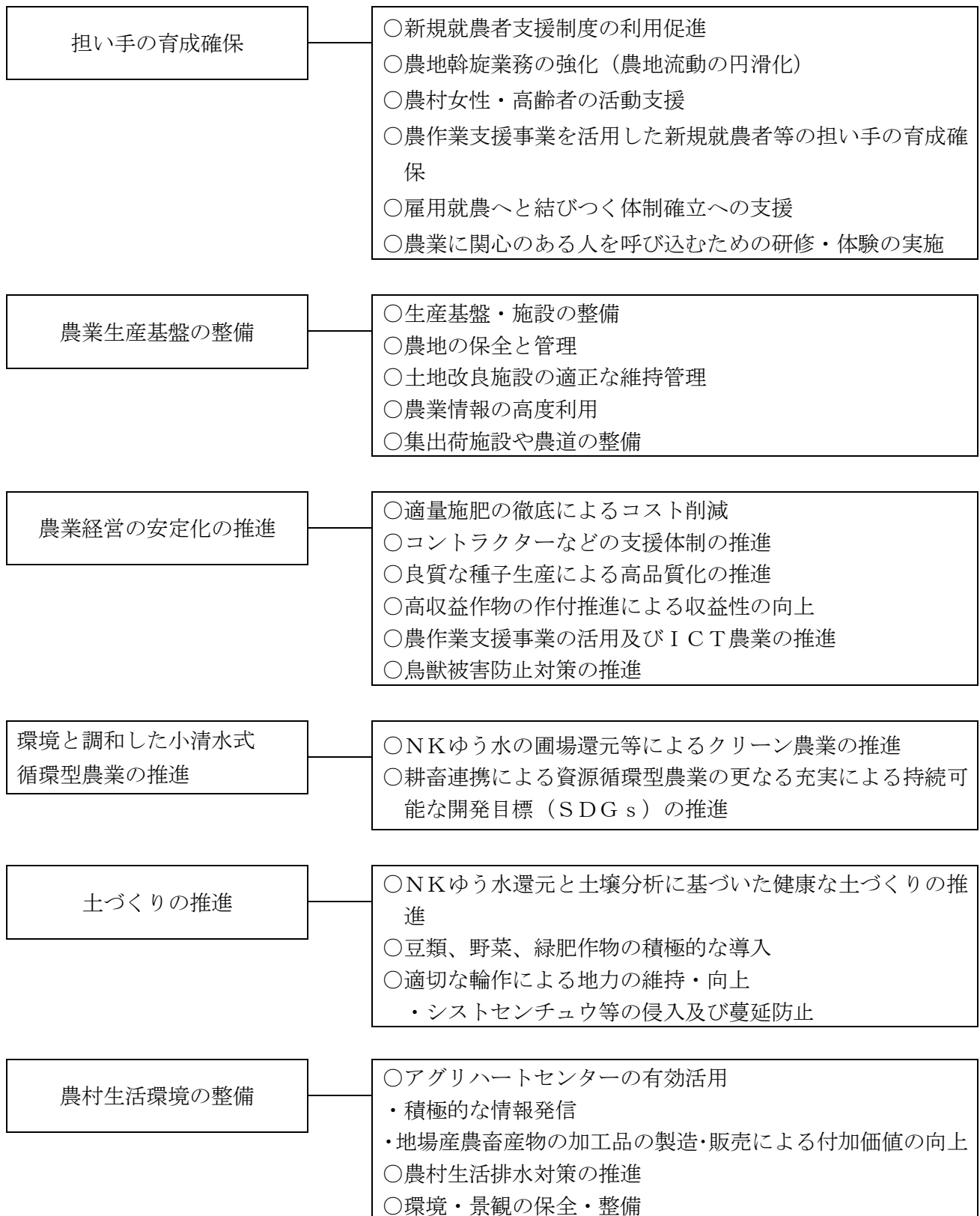


図3 適切な輪作体系例イメージ



取り組むべき主要施策の体系



第5 主要作目の生産振興の方向

1. 畑作 ……作物別振興方策

地力の維持・増進を図りながら、持続的な畑作農業を展開するため、営農条件を考慮した適切な輪作体系を確立し、品質の向上と生産コストの低減を図る。

□馬鈴しょ

本町の基幹作物であるでん粉原料用を軸に、生食用・加工用も含め、多様な用途に応じた生産体制の確立を目指す。

また、消費者や実需者ニーズに即した品種の導入を推進し、栽培管理や収穫・貯蔵技術の向上を図る。

なお、近年、増加傾向にあるシストセンチュウ対策として、土壌のセンチュウ汚染密度の適切な把握に基づく輪作体系を行うとともに、抵抗性品種の導入を積極的に進める。

□てん菜

本町の基幹作物ではあるが、1戸あたりの作付面積拡大に伴う労働力不足やコスト増加など、課題はある一方、経営の安定や輪作を維持する上で必要な作物であることから、計画的な生産が必要となってくる。

今後は、生産性の一層の向上に向けた取り組みと積極的な省力化技術の導入によるコストの低減を図る。

□小麦

本町の基幹作物であり、今後とも基本技術の励行及び適期、適量施肥の実施により、高品質・低コストな小麦の安定生産を図り、実需者ニーズに的確に応えるとともに、小清水産小麦の地産地消に努め、時期を捉えて積極的にPRを図り、付加価値の向上を図る。

□豆類

気象条件による収量の変動が大きく、価格も不安定であるが、適切な輪作体系には欠くことのできない第4の作物であり、経営安定所得対策において戦略的作物として位置づけられるなど、食料自給力向上において欠くことのできない品目となっていることから、省力化の推進、栽培技術の改善等により、収益性の向上を図る。

また、小豆・菜豆についても、需要に即した安定的な供給を図る。

2. 野菜・・・作物別振興方策

野菜は農業の安定的な発展を期するための重点作物であるが、輸入野菜の増加により市場価格が低迷しているものもある。

しかしながら、農業の収益性を高め農業者の所得の向上が図られることから、地域特性を活かした産地づくり、機械化・省力化を推進し、安定的な供給を図りながら、安全・安心の消費者・実需者ニーズに応えるブランドを確立・推進する。

□根菜類

・にんじん

本州を中心にブランドとして確立されてきてはいるが、一層のPRを展開することにより、需要の開拓に努める。また、適切な輪作体系を維持し、土壌病害虫の防除を徹底することにより規格内率の向上に努め、永続的な産地形成の端緒とする。

・ごぼう

中国からの輸入が定着してきているが、収穫機械の導入による省力化を図り、高品質で安定的な生産により、特色ある産地づくりを図る。

□葉茎菜類

・たまねぎ

輸入量の増加、産地間競争の激化など厳しい環境ではあるが、省力化によるコスト低減により、高品質で安定的な生産を図る。

・アスパラガス

近年の天候不順等による減収から作付意欲に減退が見られることから、土づくりや新たな品種導入などにより、生産量の維持・向上を目指し、高品質で安定供給可能な産地づくりを推進する。

・ブロッコリー

作付面積は狭小ながら、高品質の生産を維持し、首都圏を中心に市場評価は高いことから、高収益作物を新たに導入する際の選択肢の一つとなるよう、増反を図るとともに産地づくりを推進する。

3. 飼料作物・・・総論

計画的な草地更新を通じた飼料生産性の向上や放牧による自給飼料の生産拡大を図り、飼料基盤に立脚した資源循環型の経営体育成に努める。

なお、平成24年から稼働を開始したTMRセンターの飼料供給により、飼料の安定供給と給餌に係る労働力の軽減が図られ、飼養頭数の増加、生乳生産量の増加へと繋がっている。また、耕種農家への粗飼料受委託方式・澱粉粕利用により、畜産農家の粗飼料面積の不足と生産量を補うとともに、耕種農家への輪作体系維持や圃場物理性改善に繋げ、本町が目指す耕畜連携をさらに推進する。

4. 酪農 ……総論

酪農を取りまく環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、乳製品の在庫超過に伴う生乳価格の下落や輸入粗飼料価格の不安定さから依然厳しい状況ではあるが、ヘルパーやコントラクターなどの支援システムの活用や、TMR飼料の活用推進、公共牧場の機能をフル活用することなどにより酪農経営の体質強化を図る。また、家畜排せつ物の一層の有効活用により、環境と調和のとれた循環型農業の確立を推進する。

5. 肉用牛 ……総論

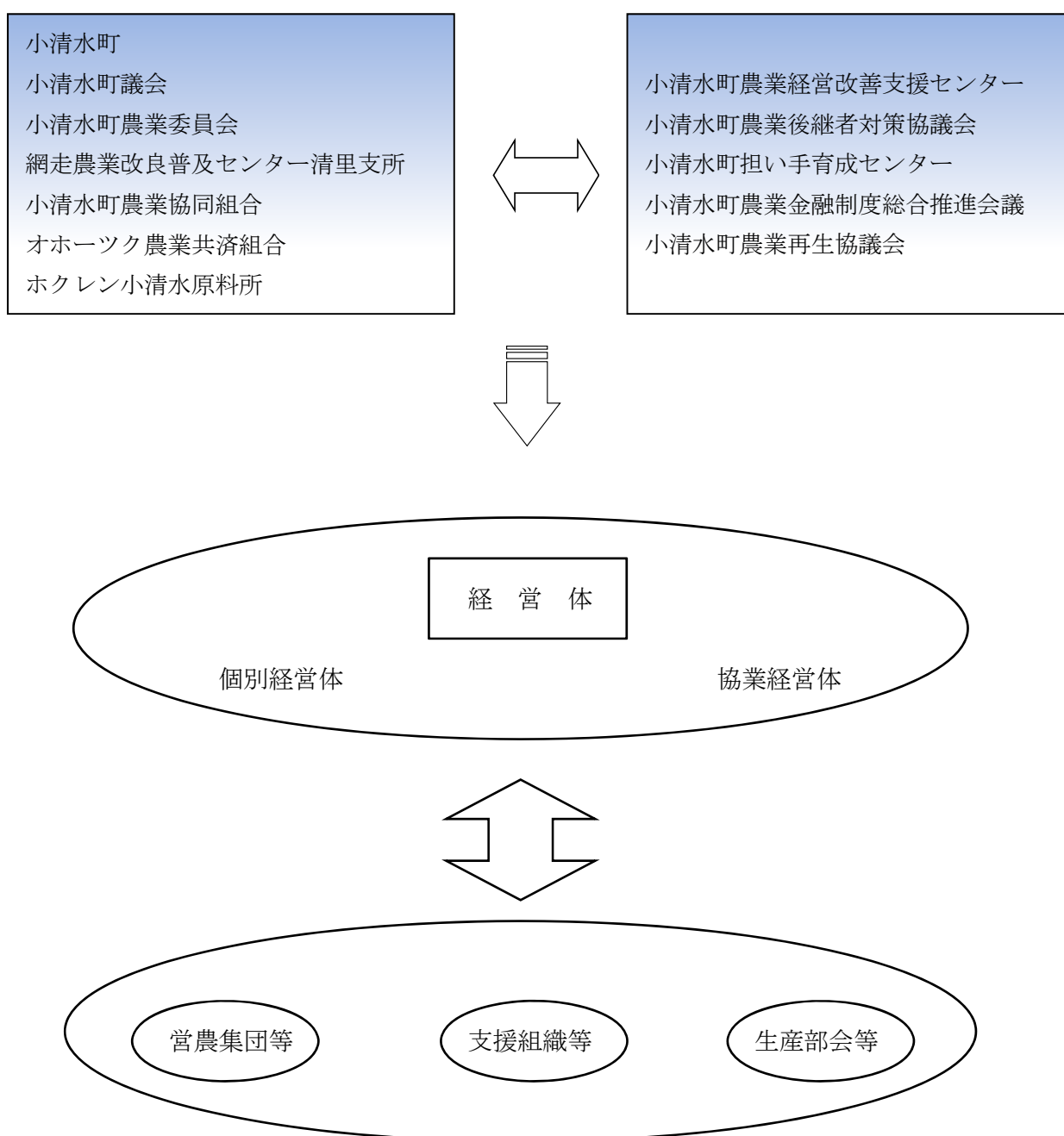
牛肉価格が依然として不安定な状況が続くなど、厳しい環境ではあるが、飼養管理技術・経営管理技術の向上に努めるとともに、野菜残渣や澱粉粕を活用した新たな飼養形態の検討など地域の特性を活かした生産コストの低減を図り、消費者・実需者ニーズに即した安全で良質な牛肉の生産拡大を図る。また、家畜排せつ物の一層の有効活用により、環境と調和のとれた循環型農業の確立を推進する。

第6 計画の推進体制

先に述べた、基本構想及び基本目標に向けて、将来にわたって継続可能で、魅力ある農業、そして誰もがゆとりとうるおいを実感できる農村づくりを推進していきます。

この計画の実現に向けた具体的な取り組みについては、時代の変化に対応した施策の推進と関係機関・団体との連携の強化を図る必要があります。

農業者はもとより、地域が一体となって、課題解決に向けたそれぞれの役割を担い、農業・農村づくりを推進していきます。



営農類型策定上の考え方

目標年次	5年後（令和7年）
所得目標	745万円～
労働力	農業従事者3人（実労働者2.5人）とし、不足は雇用労働 ※1人当たり最大日労働時間：農閑期 8時間（1～3月・11～12月） 農繁期10時間（4～10月） ※旬当たり最大可能労働時間：作業可能率により算出 ※1人当たり最大年間労働時間：2,000時間
土地	現有とするが、30ha以上の経営規模では借地率10%として算出 ※借地料：11,000/10a
施設・機械	30ha以上の経営規模は個人所有 20haの経営規模は、管理作業機は個人所有とするが、播種・移植機及び収穫機械は3戸共同利用で算出 野菜関係の機械は、全類型とも3戸共同で算出
収量等	現況を踏まえ、目標年に到達可能な収量
販売単価	畑作物及び畜産物は現行の単価を参考に算出し、野菜は数年間の価格動向により設定
経営費	直接費（種苗費・肥料費・農薬費等）は、現在の価格で算出 ※雇用労働費：1,000円/1時間 ※減価償却費：法定耐用年数の1.5倍の定額法 ※野菜の機械経営費（減価償却・燃料・修理）のうち、畑作での使用機械については、燃料費等の必要経費のみを計上
経営形態	所得目標を達成するための10類型を策定 ①畑作専業（40ha） 畑作3品+春小麦+大豆+小豆+人参+休閒緑肥 ②畑作専業（35ha） 畑作3品+春小麦+大豆+食用馬鈴薯+人参 ③畑作野菜（30ha） 畑作3品+大豆+人参+たまねぎ+ごぼう ④畑作野菜（20ha） 畑作3品+人参+たまねぎ+ごぼう ⑤畑作野菜（10ha） 秋まき小麦+加工馬鈴薯+人参+ブロッコリー+アスパラ ⑥畑作肉牛（15ha） 畑作3品+春小麦+肉用牛70頭 ⑦酪農畑作（25ha） てん菜+牧草+飼料作物+乳用牛40頭 ⑧酪農専業（30ha） 牧草+飼料作物+乳用牛60頭 ⑨畑作専業（30ha） 畑作3品+大豆・小豆+人参+休閒緑肥+（コントラ利用） 受託トウモロコシ ⑩野菜専業（10ha） たまねぎ+ブロッコリー+かぼちゃ
経営成果	農業所得＝農業粗収入－農業経営費（農業費用＋支払利息） 農業利益＝農業所得－家族労賃（家族労働時間×1,300円） キャッシュフロー（現金収支）＝農家所得＋減価償却費－育成牛増殖益 資産状況 土地 20万円/10a 建物 取得価格の55% 機械 取得価格の55% 畜産 成牛：取得価格の60% 育成牛：12万円/頭 負債残高 資産額（機械＋施設）の50% 支払利息 負債残高の3.0%

第 7 目 標 と す る 農 業 経 営 指 標

経 営 形 態		労 働 人 員 (人)	土 地 利 用 面 積 (ha)	作 付 面 積 (ha)														
				澱 原 馬 鈴 薯	て ん 菜	秋 小 麦	春 小 麦	大 豆	小 豆	食 用 馬 鈴 薯	加 工 馬 鈴 薯	に ん じ ん	た ま ね ぎ	ご ぼ う	そ の 他 野 菜	受 託 と う も ろ こ し	緑 肥 作 物	牧 草
1	畑作専業 経営Ⅰ型	3	40.0	9.0	11.0	9.0	2.0	2.0	1.0			2.0					4.0	
2	畑作専業 経営Ⅱ型	3	35.0	8.0	8.0	8.0	4.0	3.0		2.0		2.0						
3	畑作野菜 複合経営Ⅰ型	3	30.0	8.0	9.0	6.0		2.0				2.0	2.0	1.0				
4	畑作野菜 複合経営Ⅱ型	3	20.0	4.0	6.0	5.0						2.0	2.0	1.0				
5	畑作野菜 複合経営Ⅲ型 (新規就農者)	3	10.0			2.5					2.5	2.5			2.5			
6	畑作肉牛 複合経営型	3	4.0		0.0	0.0	0.0			4.0								
7	酪農畑作 複合経営型	3	25.0		5.0												16.0	4.0
8	酪農専業 経営型	3	30.0														24.0	6.0
9	畑作専業経営 コントラ利用型	3	30.0	7.0	8.0	7.0		2.0	1.0			2.0			2.0	1.0		
10	野菜専業 経営型 (新規就農者)	3	10.0										5.0		5.0			

家畜飼養頭数(頭)			労働時間 (hr)	経営収支(千円)					所得率 (%)
乳 用 牛	肉 用 牛	豚		粗収入			支 出	農 業 所 得	
				農 産 産	畜 産 産	計			
			(458) 2,627	49,104		49,104	32,629	16,475	33.6
			(432) 2,363	51,354		51,354	34,258	17,096	33.3
			(677) 3,077	52,136		52,136	35,223	16,913	32.4
			(577) 2,403	39,929		39,929	27,433	12,496	31.3
			(960) 3,326	26,925	0	26,925	19,472	7,453	27.7
	20		(224) 2,836	25,524	7,300	32,824	22,737	10,087	30.7
40			(210) 3,838	6,460	44,172	50,632	37,950	12,682	25.0
60			(96) 3,739		66,179	66,179	47,378	18,801	28.4
			(375) 2,210	39,184	0	39,184	23,596	15,588	39.8
			(1,186) 3,887	33,710	0	33,710	22,539	11,171	33.1

1 畑作専業経営 I 型 (40ha)

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

作物名	合計・平均	瀬源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	小豆	にんじん	休閒緑肥	管理
作付面積(10a)	400	90	110	90	20	20	10	20	40	
収量(kg/10a)	—	4,250	7,600	720	540	300	270	3,300		
単価(円/俵・t)	—	1,860	17,000	9,000	10,800	19,800	18,000	1,300		
10a収入(円)	122,760	131,756	129,200	108,000	97,200	99,000	81,000	429,000		

10a所得(千円)	42	27	58	52	44	54	40	100		
比例経費率(%)	66	79	55	52	55	45	51	77		
農業所得率(%)	34	21	45	49	45	55	49	23		
労働時間(hr)	2,627	662	1,189	110	29	43	49	326	19	200

	(千円)
農業収入	49,104
農業経営費	32,629
農業所得	16,475
農業利益	13,655
キャッシュフロー	20,977

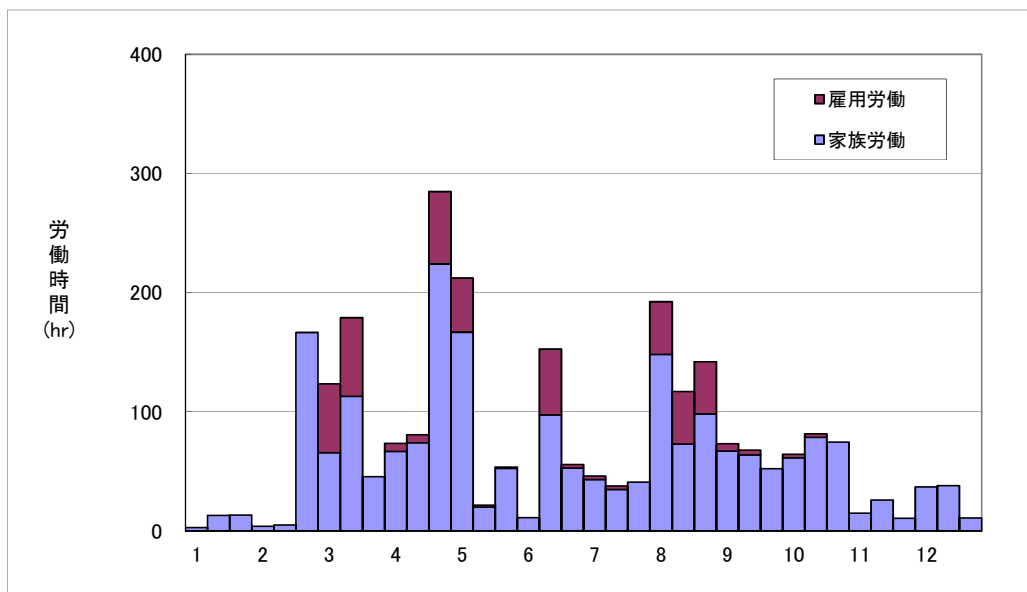
農業所得率	34%
農業利益率	28%

	(千円)
減価償却費	4,502
支払利息	345

	(千円)
資産の状況	
土地	72,000
建物	2,058
機械	18,870
計	92,928

	(hr)
家族労働	2,169
雇用労働	458

	(千円)
負債残高	11,493
売上負債率	23%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	小豆	にんじん	休閑緑肥	管理
主作付面積	10a	400	90	110	90	20	20	10	20	40	
反収	kg		4,250	7,600	720	540	300	270	3,300		
生産量	t		6,375	836	1,080	180	100	45	6,600		
販売単価	円		1,860	17,000	9,000	10,800	19,800	18,000	1,300		
販売額	千円	49,104	11,858	14,212	9,720	1,944	1,980	810	8,580		
副作反収	kg										
生産量	換算										
販売単価	円										
販売額	千円										
合計		49,104	11,858	14,212	9,720	1,944	1,980	810	8,580		

費用の部

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	小豆	にんじん	休閑緑肥	管理
種苗費	千円	3,639	2,188	277	223	107	99	39	493	213	
肥料費	々	4,492	1,068	2,175	667	177	93	53	218	41	
農薬費	々	2,577	518	813	585	98	146	66	351		
生産資材費	々	830	104	711				15			
その他直接費	々	310	86	121	37	9	8	4	42	3	
雇用労働費	々	458	54	251	4	1	7	9	132		
水道光熱費	々	643	230	199	81	22	20	14	62	15	
共済掛金	々	711	118	213	221	60	74	25			
賃料	々	6,979			1,589	284	229	59	4,818		
販売費用	々	3,347	2,542	156	345	61	36	18	189		
減価償却費	々	4,502	1,608	1,708	589	128	106	71	207	85	
修理費	々	2,038	677	897	252	56	46	23	50	37	
公課諸負担	々	792	111	223	359	58	25	13	3		
土地改良費	々										
雑費事務費	々	350									350
管理費用	々	616	84	97	50	12	9	4	6	4	350
合計	々	32,284	9,388	7,841	5,002	1,073	898	413	6,571	398	700

農業所得	千円	16,820	2,470	6,371	4,718	871	1,082	397	2,009	△ 398	
農業所得率	%	34	21	45	49	45	55	49	23		

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	小豆	にんじん	休閑緑肥	管理
収入 / 10 a	千円	123	132	129	108	97	99	81	429		
所得 / 10 a	々	42	27	58	52	44	54	40	100	△ 10	
作目別労働時間	hr	2,627	662	1,189	110	29	43	49	326	19	200
家族労働時間	々	2,169	608	938	106	28	36	40	194	19	200
雇用労働時間	々	458	54	251	4	1	7	9	132		
労働時間/10 a	々	6.6	7.4	10.8	1.2	1.4	2.1	4.9	16.3	0.5	
所得/家族労働	円	7,754	4,063	6,791	44,509	31,107	30,056	9,925	10,356	△ 20,947	

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	49,104	
農業経営費	々	32,629	支払利息 345 千円
農業所得	々	16,475	
農業利益	々	13,655	家族労働 1,300 円/hr
キャッシュフロー	々	20,977	

農業所得率	%	34
農業利益率	%	28

資産の状況

項目	金額
土地	72,000 千円
建物	2,058 千円
機械	18,870 千円
計	92,928 千円

負債の状況

負債残高	11,493 千円
------	-----------

2 畑作専業経営Ⅱ型（35ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

作物名	合計・平均	瀬源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	食用馬鈴薯	にんじん		管 理
作付面積(10a)	350	80	80	80	40	30	20	20		
収量(kg/10a)	—	4,250	7,600	720	540	300	4,000	3,300		
単価(円/俵・t)	—	1,860	17,000	9,000	10,800	19,800	800	1,300		
10a収入(円)	146,726	131,750	129,200	108,000	97,200	99,000	320,000	429,000		

10a所得(千円)	50	27	58	52	44	54	86	100		
比例経費率(%)	66	79	55	51	55	45	73	77		
農業所得率(%)	34	21	45	49	45	55	27	23		
労働時間(hr)	2,363	589	865	98	57	64	164	326		200

	(千円)
農業収入	51,354
農業経営費	34,258
農業所得	17,096
農業利益	9,405
キャッシュフロー	21,388

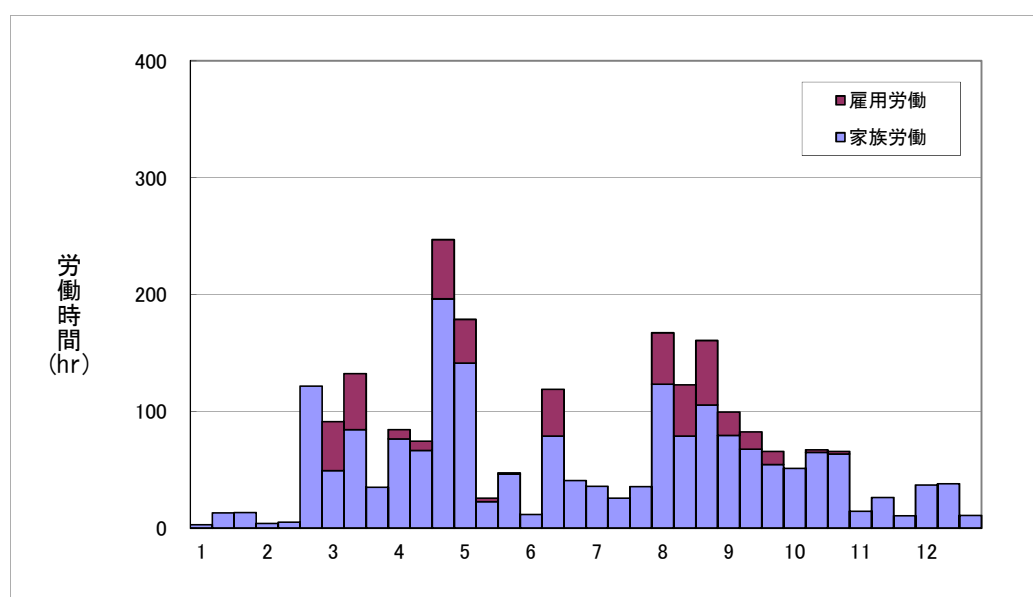
農業所得率	33%
農業利益率	18%

	(千円)
減価償却費	4,292
支払利息	332

(千円)	
資産の状況	
土地	63,000
建物	1,906
機械	18,320
計	83,226

	(hr)
家族労働	1,931
雇用労働	432

	(千円)
負債残高	11,066
売上負債率	22%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	食用馬鈴薯	にんじん	管理
主 作付面積	10a	350	80	80	80	40	30	20	20	
反 収	kg		4,250	7,600	720	540	300	4,000	3,300	
生産量	換算		5,667	608	960	360	150	8,000	6,600	
販売単価	円		1,860	17,000	9,000	10,800	19,800	800	1,300	
物 販売額	千円	51,354	10,540	10,336	8,640	3,888	2,970	6,400	8,580	
副 反 収	kg									
生産量	換算									
販売単価	円									
物 販売額	千円									
合 計		51,354	10,540	10,336	8,640	3,888	2,970	6,400	8,580	

費用の部

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	食用馬鈴薯	にんじん	管理
種 苗 費	千円	3,595	1,945	201	199	214	149	394	493	
肥 料 費	々	3,970	950	1,582	593	354	140	133	218	
農 薬 費	々	2,568	461	591	520	196	218	231	351	
生産資材費	々	632	93	517				22		
その他直接費	々	292	76	88	33	18	12	23	42	
雇用労働費	々	432	48	182	4	2	10	54	132	
水道光熱費	々	613	204	145	72	44	30	56	62	
共済掛金	々	735	105	155	196	121	111	47		
賃料金	々	10,094			1,412	568	344	2,952	4,818	
販売費用	々	3,093	2,260	114	306	122	53	49	189	
減価償却費	々	4,292	1,429	1,242	523	256	160	475	207	
修 理 費	々	1,901	602	652	224	112	69	192	50	
公課諸負担	々	760	98	162	319	116	37	25	3	
土地改良費	々									
雑費事務費	々	350								350
管理費用	々	599	75	70	44	23	13	18	6	350
合 計	々	33,926	8,346	5,701	4,445	2,146	1,346	4,671	6,571	700

農業所得	千円	17,428	2,194	4,635	4,195	1,742	1,624	1,729	2,009	
農業所得率	%	34	21	45	49	45	55	27	23	

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦	大豆	食用馬鈴薯	にんじん	管理
収入 / 10 a	千円	147	132	129	108	97	99	320	429	
所得 / 10 a	々	50	27	58	52	44	54	86	100	
作目別労働時間	hr	2,363	589	865	98	57	64	164	326	200
家族労働時間	々	1,931	541	683	94	55	54	110	194	200
雇用労働時間	々	432	48	182	4	2	10	54	132	
労働時間/10 a	々	6.8	7.4	10.8	1.2	1.4	2.1	8.2	16.3	
所得/家族労働	円	9,025	4,055	6,786	44,628	31,673	30,074	15,718	10,356	

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	51,354	
農業経営費	々	34,258	支払利息 332 千円
農業所得	々	17,096	
農業利益	々	9,405	家族労働 1,300 円/hr
キャッシュフロー	々	21,388	

農業所得率	%	33
農業利益率	%	18

資産の状況

項目	金額
土地	63,000 千円
建物	1,906 千円
機械	18,320 千円
計	83,226 千円

負債の状況

負債残高	11,066 千円
------	-----------

3 畑作野菜複合経営Ⅰ型（30ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

作物名	合計・平均	濃源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	にんじん	たまねぎ	ごぼう		管 理
作付面積(10a)	300	80	90	60	20	20	20	10		
収量(kg/10a)	—	4,250	7,600	720	300	3,300	5,000	2,330		
単価(円/俵・t)	—	1,860	17,000	9,000	19,800	1,300	1,700	1,900		
10a収入(円)	173,787	131,763	129,200	108,000	99,000	429,000	425,000	442,700		

10a所得(千円)	58	27	58	52	54	100	132	171		
比例経費率(%)	67	79	55	51	45	77	69	62		
農業所得率(%)	33	21	45	49	55	23	31	39		
労働時間(hr)	3,077	589	973	73	43	326	630	243		200

	(千円)
農業収入	52,136
農業経営費	35,223
農業所得	16,913
農業利益	13,793
キャッシュフロー	20,946

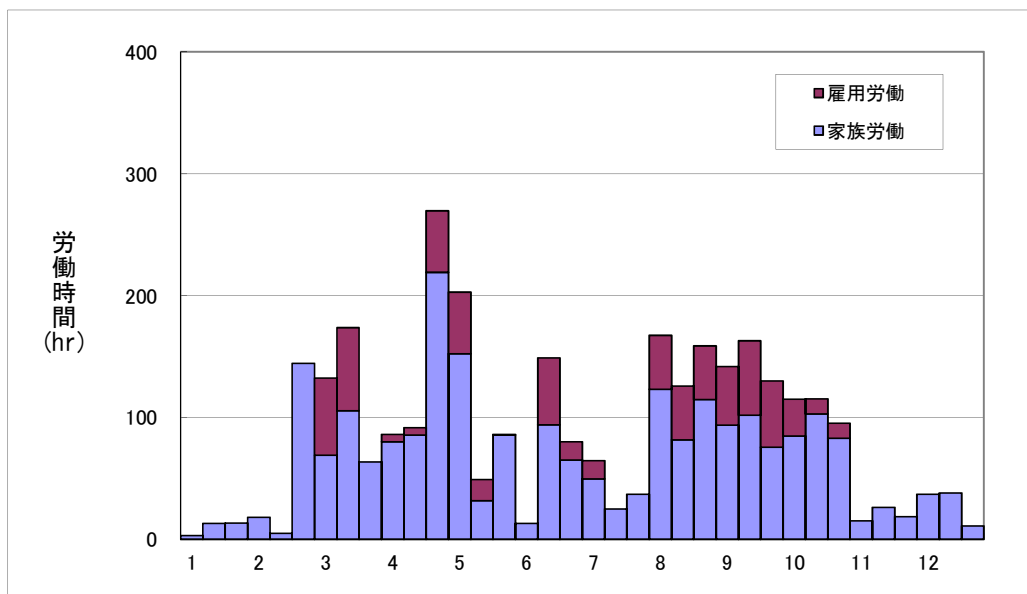
農業所得率	32%
農業利益率	26%

	(千円)
減価償却費	4,033
支払利息	370

資産の状況		(千円)
土地	54,000	
建物	2,031	
機械	20,614	
計	76,645	

家族労働	2,400
雇用労働	677

	(千円)
負債残高	12,338
売上負債率	24%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	にんじん	たまねぎ	ごぼう	管理
主 作付面積	10a	300	80	90	60	20	20	20	10	
反 収	kg		4,250	7,600	720	300	3,300	5,000	2,330	
生産量	換算		5,667	684	720	100	6,600	5,000	2,330	
販売単価	円		1,860	17,000	9,000	19,800	1,300	1,700	1,900	
販売額	千円	52,136	10,541	11,628	6,480	1,980	8,580	8,500	4,427	
副 反 収	kg									
生産量	換算									
販売単価	円									
販売額	千円									
合計		52,136	10,541	11,628	6,480	1,980	8,580	8,500	4,427	

費用の部

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	にんじん	たまねぎ	ごぼう	管理
種 苗 費	千円	3,523	1,945	226	149	99	493	492	119	
肥 料 費	々	4,196	950	1,780	444	93	218	406	305	
農 薬 費	々	2,351	461	665	390	146	351	217	121	
生産資材費	々	1,062	93	581				388		
その他直接費	々	296	76	99	25	8	42	33	13	
雇用労働費	々	677	48	205	3	7	132	186	96	
水道光熱費	々	667	204	163	54	20	62	86	78	
共済掛金	々	597	105	175	147	74		96		
賃料料金	々	11,214			1,059	229	4,818	3,300	1,808	
販売費用	々	3,030	2,260	128	230	36	189	187		
減価償却費	々	4,033	1,429	1,397	392	106	207	403	99	
修 理 費	々	1,716	602	734	168	46	50	48	68	
公課諸負担	々	579	98	183	239	25	3	19	12	
土地改良費	々									
雑費事務費	々	350								350
管理費用	々	562	75	79	33	9	6	7	3	350
合計	々	34,853	8,346	6,415	3,333	898	6,571	5,868	2,722	700

農業所得	千円	17,283	2,195	5,213	3,147	1,082	2,009	2,632	1,705	
農業所得率	%	33	21	45	49	55	23	31	39	

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	にんじん	たまねぎ	ごぼう	管理
収入 / 10 a	千円	174	132	129	108	99	429	425	443	
所得 / 10 a	々	58	27	58	52	54	100	132	171	
作目別労働時間	hr	3,077	589	973	73	43	326	630	243	200
家族労働時間	々	2,400	541	768	70	36	194	444	147	200
雇用労働時間	々	677	48	205	3	7	132	186	96	
労働時間/10 a	々	10.3	7.4	10.8	1.2	2.1	16.3	31.5	24.3	
所得/家族労働	円	7,201	4,057	6,788	44,957	30,056	10,356	5,928	11,599	

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	52,136	
農業経営費	々	35,223	支払利息 370 千円
農業所得	々	16,913	
農業利益	々	13,793	家族労働 1,300 円/hr
キャッシュフロー	々	20,946	

農業所得率	%	32
農業利益率	%	26

資産の状況

項目	金額
土地	54,000 千円
建物	2,031 千円
機械	20,614 千円
計	76,645 千円

負債の状況

負債残高	12,338 千円
------	-----------

4 畑作野菜複合経営Ⅱ型（20ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

作物名	合計・平均	濃源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	にんじん	たまねぎ	ごぼう			管 理
作付面積(10a)	200	40	60	50	20	20	10			
収量(kg/10a)	—	4,250	7,600	720	3,300	5,000	2,330			
単価(円/俵・t)	—	1,860	17,000	9,000	1,300	1,700	1,900			
10a収入(円)	199,645	131,750	129,200	108,000	429,000	425,000	442,700			

10a所得(千円)	64	27	58	18	100	132	171			
比例経費率(%)	68	79	55	51	77	69	62			
農業所得率(%)	32	21	45	17	23	31	39			
労働時間(hr)	2,403	294	649	61	326	630	243			200

	(千円)
農業収入	39,929
農業経営費	27,433
農業所得	12,496
農業利益	10,122
キャッシュフロー	15,178

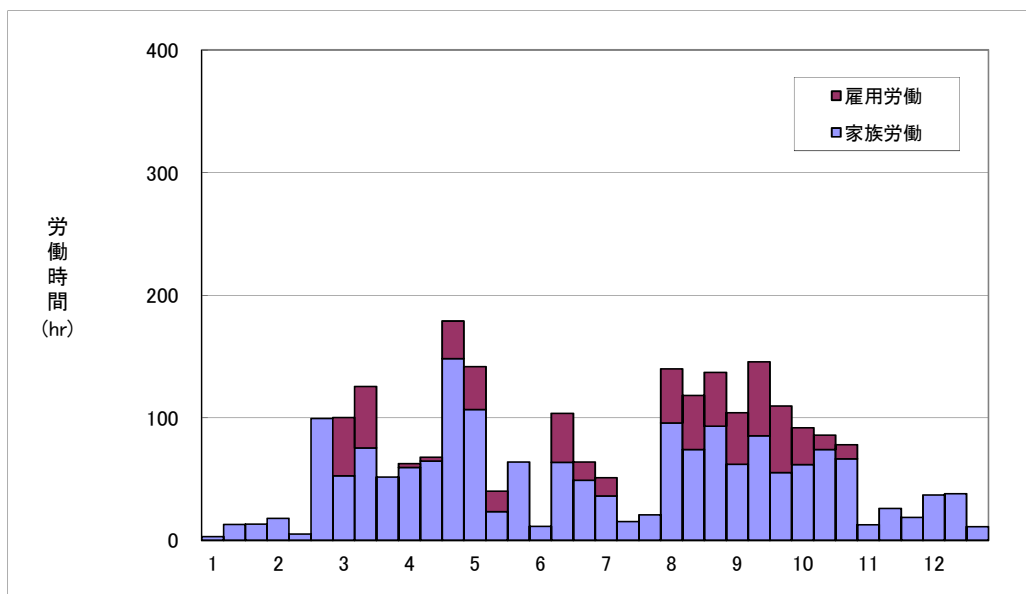
農業所得率	31%
農業利益率	25%

	(千円)
減価償却費	2,682
支払利息	346

資産の状況		(千円)
土地	40,000	
建物	1,723	
機械	19,649	
計	61,372	

家族労働	1,826
雇用労働	577

	(千円)
負債残高	11,547
売上負債率	29%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	にんじん	たまねぎ	ごぼう			管理
主 作付面積	10a	200	40	60	50	20	20	10			
反 収	kg		4,250	7,600	720	3,300	5,000	2,330			
生産量	換算		2,833	456	600	6,600	5,000	2,330			
販売単価	円		1,860	17,000	9,000	1,300	1,700	1,900			
物 販売額	千円	39,929	5,270	7,752	5,400	8,580	8,500	4,427			
副 反 収	kg										
生産量	換算										
販売単価	円										
物 販売額	千円										
合 計		39,929	5,270	7,752	5,400	8,580	8,500	4,427			

費用の部

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	にんじん	たまねぎ	ごぼう			管理
種 苗 費	千円	2,351	972	151	124	493	492	119			
肥 料 費	々	2,961	475	1,187	370	218	406	305			
農 薬 費	々	1,687	230	443	325	351	217	121			
生産資材費	々	822	46	388			388				
その他直接費	々	213	38	66	21	42	33	13			
雇用労働費	々	577	24	137	2	132	186	96			
水道光熱費	々	482	102	109	45	62	86	78			
共済掛金	々	387	52	116	123		96				
販 料 金	々	10,809			883	4,818	3,300	1,808			
販売費用	々	1,782	1,130	85	191	189	187				
減価償却費	々	2,682	715	931	327	207	403	99			
修 理 費	々	1,096	301	489	140	50	48	68			
公課諸負担	々	404	49	122	199	3	19	12			
土地改良費	々										
雑費事務費	々	350									350
管理費用	々	484	37	53	28	6	7	3			350
合 計	々	27,087	4,171	4,277	2,778	6,571	5,868	2,722			700

農業所得	千円	12,842	1,099	3,475	907	2,009	2,632	1,705			
農業所得率	%	32	21	45	17	23	31	39			

収入 / 10 a	千円	200	132	129	108	429	425	443			
所得 / 10 a	々	64	27	58	18	100	132	171			
作目別労働時間	h r	2,403	294	649	61	326	630	243			200
家族労働時間	々	1,826	270	512	59	194	444	147			200
雇用労働時間	々	577	24	137	2	132	186	96			
労働時間/10 a	々	12.0	7.4	10.8	1.2	16.3	31.5	24.3			
所得/家族労働	円	7,033	4,070	6,787	15,373	10,356	5,928	11,599			

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘 要
農業収入	千円	39,929	
農業経営費	々	27,433	支払利息 346千円
農業所得	々	12,496	
農業利益	々	10,122	家族労働 1,300円/hr
キャッシュフロー	々	15,178	

農業所得率	%	31
農業利益率	%	25

資産の状況

項目	金額
土地	40,000千円
建物	1,723千円
機械	19,649千円
計	61,372千円

負債の状況

負債残高	11,547千円
------	----------

5 畑作野菜複合経営Ⅲ型（10ha）（新規就農者）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

作物名	合計・平均	秋まき小麦	加工馬鈴薯	にんじん	ブロッコリー	アスパラ				管 理
作付面積(10a)	100.0	25.0	25.0	25.0	15.0	10.0				
収量(kg/10a)	—	720	3,800	3,300	800	300				
単価(円/俵・t)	—	9,000	411	1,300	5,500	10,000				
10a収入(円)	269,250	108,000	156,000	429,000	440,000	300,000				

10a所得(千円)	84	54	63	100	122	127				
比例経費率(%)	69	50	59	77	72	58				
農業所得率(%)	31	50	41	23	28	42				
労働時間(hr)	3,326	31	178	408	690	1,779				240

	(千円)
農業収入	26,925
農業経営費	19,472
農業所得	7,453
農業利益	4,377
キャッシュフロー	8,534

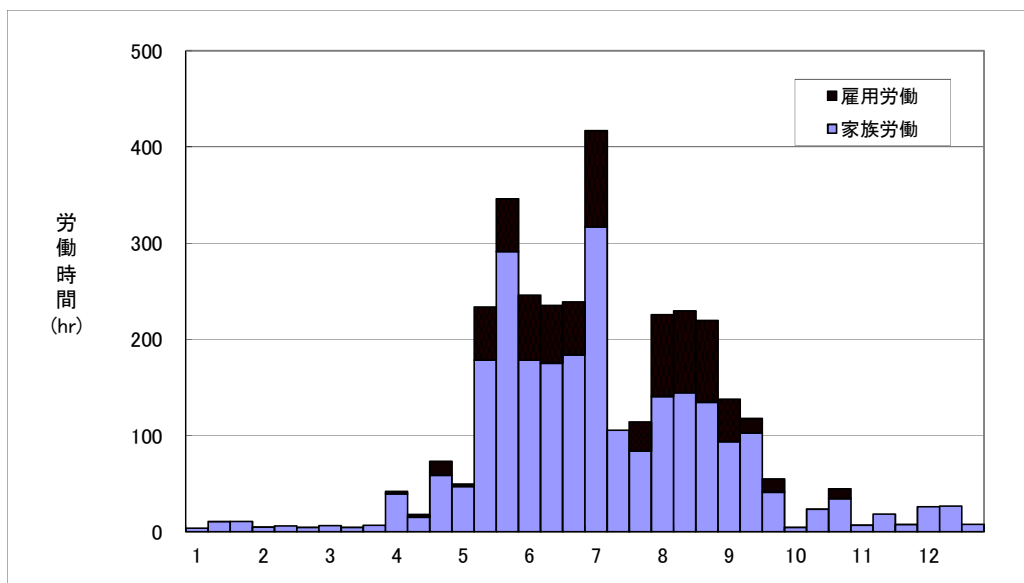
農業所得率	28%
農業利益率	16%

	(千円)
減価償却費	1,081
支払利息	900

資産の状況		(千円)
土地	20,000	
建物	1,206	
機械	9,825	
計	31,031	

家族労働	2,366
雇用労働	960

	(千円)
負債残高	30,000
売上負債率	111%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	秋まき小麦	加工馬鈴薯	にんじん	ブロッコリー	アスパラガス			管 理
主 作付面積	10a	100	25	25	25	15	10			
反 収	kg		720	3,800	3,300	800	300			
生産量	換算		300	9,500	8,250	1,200	300			
販売単価	円		9,000	411	1,300	5,500	10,000			
物 販売額	千円	26,925	2,700	3,900	10,725	6,600	3,000			
副 反 収	kg									
生産量	換算									
物 販売単価	円									
物 販売額	千円									
合 計		26,925	2,700	3,900	10,725	6,600	3,000			

費用の部

項 目	単位	合計	秋まき小麦	加工馬鈴薯	にんじん	ブロッコリー	アスパラガス			管 理
種 苗 費	千円	1,468	133	501	616	203	15			
肥 料 費	々	1,153	221	209	272	147	304			
農 薬 費	々	963	122	288	439	85	29			
生産資材費	々	271		28		125	118			
その他直接費	々	134	11	31	53	22	17			
雇用労働費	々	960	1	53	166	335	405			
水道光熱費	々	235	27	76	78	39	15			
共済掛金	々	133	76	57						
賃料料金	々	10,790	355	98	6,023	3,600	714			
販売費用	々	584	77	86	236	119	66			
減価償却費	々	1,081	160	594	259	47	21			
修 理 費	々	414	70	240	63	32	9			
公課諸負担	々	137	73	31	4	16	13			
土地改良費	々									
雑費事務費	々	100								100
管理費用	々	149	14	22	7	4	2			100
合 計	々	18,572	1,340	2,314	8,216	4,774	1,728			200

農業所得	千円	8,353	1,360	1,586	2,509	1,826	1,272			
農業所得率	%	31	50	41	23	28	42			

項 目	単位	合計	秋まき小麦	加工馬鈴薯	にんじん	ブロッコリー	アスパラガス			管 理
収入 / 10 a	千円	269	108	156	429	440	300			
所得 / 10 a	々	84	54	63	100	122	127			
作目別労働時間	h r	3,326	31	178	408	690	1,779			240
家族労働時間	々	2,366	30	125	242	355	1,374			240
雇用労働時間	々	960	1	53	166	335	405			
労働時間/10 a	々	33.3	1.2	7.1	16.3	46.0	177.9			
所得/家族労働	円	3,530	45,333	12,688	10,368	5,144	926			

農業収支の総括

項 目	単位	金額	摘 要
農業収入	千円	26,925	
農業経営費	々	19,472	支払利息 900 千円
農業所得	々	7,453	
農業利益	々	4,377	家族労働 1,300 円/hr
キャッシュフロー	々	8,534	

農業所得率	%	28
農業利益率	%	16

資産の状況

項 目	金額
土 地	20,000 千円
建 物	1,206 千円
機 械	9,825 千円
計	31,031 千円

負債の状況

負債残高	30,000 千円
------	-----------

6 畑作肉牛複合経営型（15ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

作物名	合計・平均	食用馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦			肉牛名	黒毛和牛	管 理
作付面積(10a)	40	40						繁殖牛	20	
収量(kg/10a)	—	4,000	7,600	720	540			素牛販売	15	
単価(円/俵・t)	—	800	17,000	9,000	10,800			素牛販売	455,000	
10a収入(円)	218,827	320,000	129,200	108,000	97,200					

10a所得(千円)	70	86	58	52	44					
比例経費率(%)	68	73	55	52	55				75	
農業所得率(%)	32	27	45	49	45				25	
労働時間(hr)	2,836	328	541	49	29				1,629	260

	(千円)
農業収入	32,824
農業経営費	22,737
農業所得	10,087
農業利益	6,691
キャッシュフロー	12,908

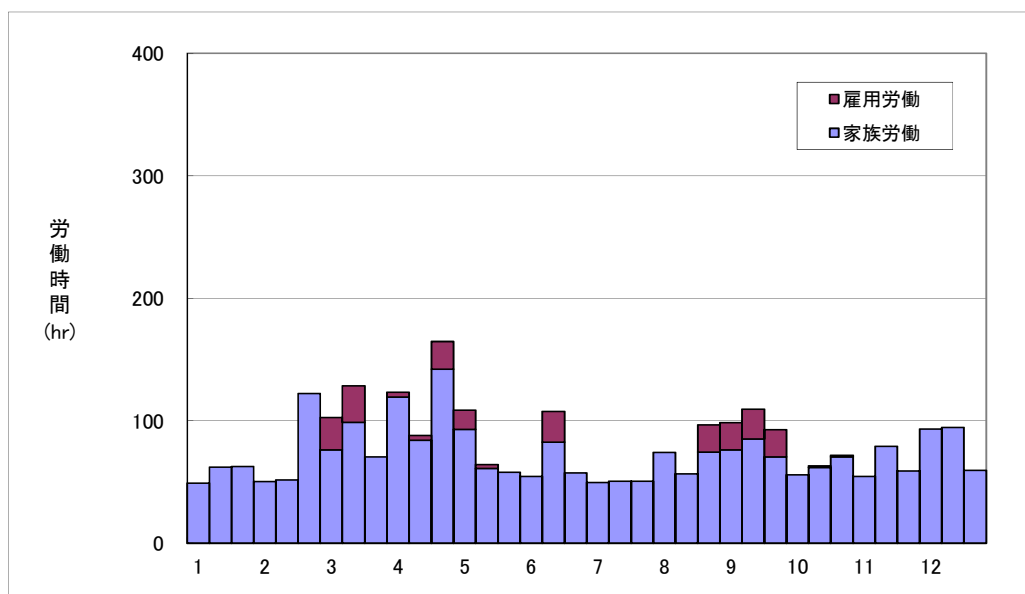
農業所得率	31%
農業利益率	20%

	(千円)
減価償却費	2,821
支払利息	348

資産の状況		(千円)
土地	30,000	
建物	3,558	
機械	16,098	
計	49,656	

家族労働	2,612
雇用労働	224

	(千円)
負債残高	11,607
売上負債率	35%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	食用馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦			肉牛管理
主 作付面積	10a	150	40	50	40	20			繁殖牛 20
反 収	kg		4,000	7,600	720	540			
産 生産量	換算		16,000	380	480	180			素牛販売 15
物 販売単価	円		800	17,000	9,000	10,800			455,000
副 販売額	千円	32,344	12,800	6,460	4,320	1,944			6,820
産 反 収	kg								
物 生産量	換算								廃用販売 4
副 販売単価	円								120,000
物 販売額	千円	480							480
合 計		32,824	12,800	6,460	4,320	1,944			7,300

費用の部

項目	単位	合計	食用馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦			肉牛管理
種 苗 費	千円	1,120	788	126	99	107			飼料費 2,880
肥 料 費	々	1,729	267	989	296	177			養畜衛生費 439
農 薬 費	々	1,188	461	369	260	98			
生産資材費	々	367	44	323					37
その他直接費	々	128	47	55	17	9			
雇用労働費	々	224	107	114	2	1			
水道光熱費	々	261	112	91	36	22			311
共済掛金	々	350	95	97	98	60			424
賃料料金	々	6,894	5,904		706	284			
販売費用	々	383	98	71	153	61			511
減価償却費	々	2,821	951	776	262	128			704
修 理 費	々	961	385	408	112	56			70
公課諸負担	々	369	49	102	160	58			109
土地改良費	々								
雑費事務費	々	350							350
管理費用	々	463	35	44	22	12			350
合 計	々	22,389	9,343	3,565	2,223	1,073			5,485 700

農業所得	千円	10,435	3,457	2,895	2,097	871			1,815
農業所得率	%	32	27	45	49	45			25

項目	単位	合計	食用馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	春まき小麦			黒毛和牛管理
収入 / 10 a	千円	219	320	129	108	97			1頭当収入 365
所得 / 10 a	々	70	86	58	52	44			1頭当所得 91
作目別労働時間	hr	2,836	328	541	49	29			1,629 260
家族労働時間	々	2,612	221	427	47	28			1,629 260
雇用労働時間	々	224	107	114	2	1			
労働時間/10 a	々	18.9	8.2	10.8	1.2	1.4			1頭当労働 81.5
所得/家族労働	円	3,995	15,643	6,780	44,617	31,107			1,114

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	32,824	
農業経営費	々	22,737	支払利息 348千円
農業所得	々	10,087	
農業利益	々	6,691	家族労働 1,300円/hr
キャッシュフロー	々	12,908	

農業所得率	%	31
農業利益率	%	20

資産の状況

項目	金額
土地	30,000千円
建物	3,558千円
機械	16,098千円
計	49,656千円

負債の状況

負債残高	11,607千円
------	----------

7 酪農畑作複合経営型（25ha）

機械所有	2	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

作物名	合計・平均	てんさい
作付面積(10a)	50	50
収量(kg/10a)	—	7,600
単価(円/俵・t)	—	17,000
10a収入(円)	129,200	129,200

草地	飼料用	（草地更新）	経産牛(頭)	40	TDN自給率	53%
160	40		育成牛(頭)	29	乳飼比	41%
4,300	5,800		計	69	飼料効果	1.4

経産牛1頭年乳量	9,800kg
生乳1kg当たり	94円
経産牛1頭年収入	1,104千円
経産牛1頭年所得	260千円

10a所得(千円)	58	58
比例経費率(%)	55	55
農業所得率(%)	58	58
労働時間(hr)	801	541

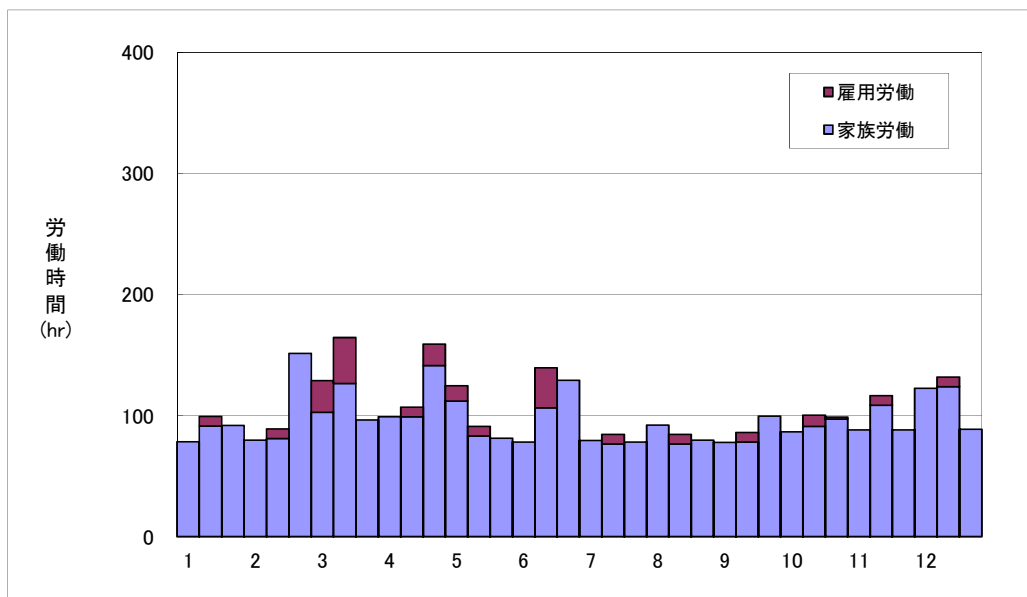
個体販売	合計	廃用牛	初生雄	初妊牛	育成増殖益
頭数(頭)	—	13	21	12	29
単価(千円)	—	109	38	136	120
計	7,324	1,414	798	1,632	3,480

(千円)	
農業収入	50,632
農業経営費	37,950
農業所得	12,682
農業利益	7,818
キャッシュフロー	15,410

農業所得率	25%
農業利益率	15%
(千円)	
減価償却費	6,208
支払利息	607

(千円)	
資産の状況	
土地	50,000
建物	27,253
機械	21,517
家畜	9,379
計	108,149

(hr)	
家族労働	3,628
雇用労働	210
(千円)	
負債残高	20,247
売上負債率	40%



機械所有	2	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	てんさい	区分	単位	合計	生乳	廃用牛	初生牛	初妊牛	育成増殖益
主 作付面積	10a	50	50	生産規模	頭		40				
反 収	kg		7,600	単位生産量	kg		9,800				
産 生産量	換算		380	販売単価	円		94	108,800	38,000	136,000	120,000
物 販売単価	円		17,000	販売量	t・頭		392	13	21	12	29
副 販売額	千円	6,460	6,460	販売額	千円	44,172	36,848	1,414	798	1,632	3,480
産 反 収	kg										
産 生産量	換算										
物 販売単価	円										
物 販売額	千円										
合 計		6,460	6,460								

費用の部

項目	単位	合計	農産	畜産
種 苗 費	千円	295	126	169
肥 料 費	々	2,003	989	1,014
農 薬 費	々	435	369	66
生産資材費	々	1,094	323	771
その他直接費	々	618	55	563
雇用労働費	々	638	129	509
水道光熱費	々	1,323	91	1,232
共済掛金	々	1,557	97	1,460
賃料料金	々	1,397		1,397
販売費用	々	1,108	71	1,037
減価償却費	々	6,208	776	5,432
修 理 費	々	1,890	408	1,482
公課諸負担	々	1,381	102	1,279
土地改良費	々			
雑費事務費	々	256		256
管理費用	々	—	44	334
飼 料 費	々	14,963		14,963
養畜衛生費	々	1,799		1,799
合 計	々	37,343	3,580	33,763

生産規模

項目	頭数	評価額	減価償却費
単 位	頭	千円	千円
経産牛	40	11,192	2,400
育成牛	29	4,439	
計	69	15,631	2,400

項目	面積	収量(10a)	生産量
単 位	10a	kg/10a	t
乾 草	98	4,300	421
グラスサイレージ	62	4,300	267
コーンサイレージ	40	5,800	232
内草地更新	25		
合 計	200		920

飼料効率

項目	全 体	経産牛	育成(24-13)	育成(12-1)
TDN自給率	52.7%	53.3%	42.9%	48.9%
乳 飼 比	40.6%	20.7%		
飼料効果	1.4			

経営効果 (飼料作物及び育成牛含む)

経産牛1頭当たり収入	1,104千円
経産牛1頭当たり所得	260千円
生乳1kg当たり収入	94.0円
生乳1kg当たり所得	7.9円

項目	単位	合計	てんさい	管 理
収入 / 10 a	千円	129	129	
所得 / 10 a	々	58	58	
作目別労働時間	hr	801	541	260
家族労働時間	々	687	427	260
雇用労働時間	々	114	114	
労働時間/10 a	々	16.0	10.8	
所得/家族労働	円	4,192	6,744	

項目	単位	合計	乳 牛	飼料作物	備 考
部門別労働時間	hr	3,037	2,943	94	
家族労働時間	々	2,941	2,847	94	
雇用労働時間	々	96	96		酪農ヘルパー利用
経産1頭当労働時間	々	74			飼料作物部門含む
所得/家族労働	円	4,519			々

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘 要
農 業 収 入	千円	50,632	
農 業 経 営 費	々	37,950	支払利息 607 千円
農 業 所 得	々	12,682	
農 業 利 益	々	7,818	家族労働 1,300 円/hr
キャッシュフロー	々	15,410	

農業所得率	%	25
農業利益率	%	15

資産の状況

項目	金額
土 地	50,000 千円
建 物	27,253 千円
機 械	21,517 千円
家 畜	9,379 千円
計	108,149 千円

負債の状況

負債残高	20,247 千円
------	-----------

8 酪農專業經營型（30ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

作物名	合計	草地	飼料用コーン(草地更新)	経産牛(頭)	60	TDN自給率	53%
作付面積(10a)	300	240	60	育成牛(頭)	42	乳飼比	40%
収量(kg/10a)	—	4,300	5,800	計	102	飼料効果	1.4

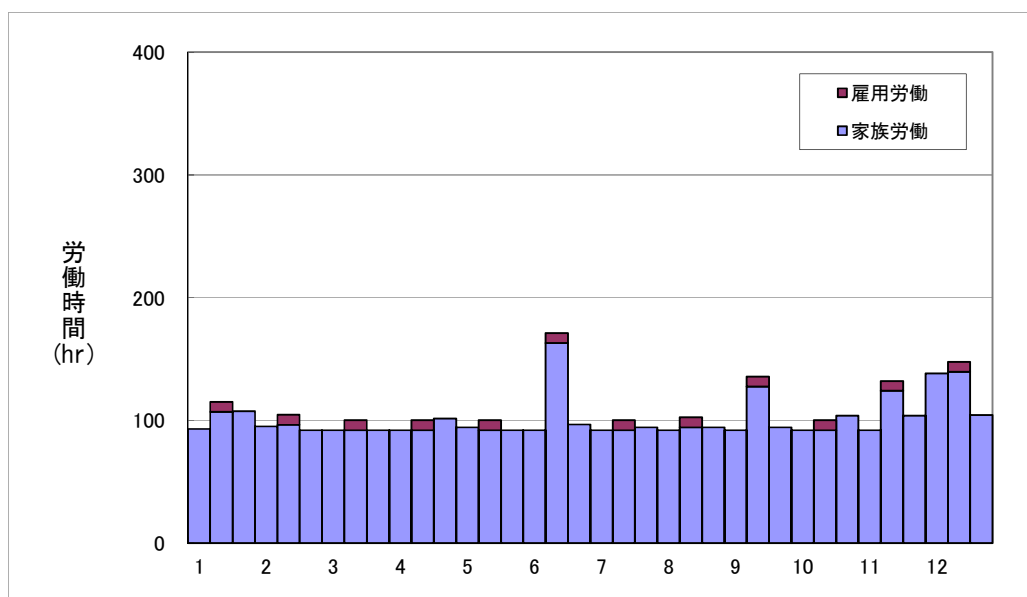
経産牛1頭年乳量	9,800kg	個体販売	合計	廃用牛	初生雄	初妊牛	育成増殖益
生乳1kg当たり	94円	頭数(頭)	—	19	32	19	42
経産牛1頭年収入	1,103千円	単価(千円)	—	109	38	136	120
経産牛1頭年所得	325千円	計	10,907	2,067	1,216	2,584	5,040

	(千円)
農業収入	66,179
農業経営費	47,378
農業所得	18,801
農業利益	14,065
キャッシュフロー	19,799

農業所得率	28%
農業利益率	21%
	(千円)
減価償却費	6,038
支払利息	721

	(千円)
資産の状況	
土地	54,000
建物	36,091
機械	21,517
家畜	13,901
計	125,509

	(hr)
家族労働	3,643
雇用労働	96
	(千円)
負債残高	24,041
売上負債率	36%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率	10	労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	----	-----	-----

収入の部

区分	単位	合計	生乳	廃用牛	初生牛	初妊牛	育成増殖益
生産規模	頭		60				
単位生産量	kg		9,800				
販売単価	円		94	108,800	38,000	136,000	120,000
販売量	t・頭		588	19	32	19	42
販売額	千円	66,179	55,272	2,067	1,216	2,584	5,040

費用の部

項目	単位	合計
種苗費	千円	254
肥料費	々	1,561
農薬費	々	100
飼料費	々	22,149
養畜衛生費	々	2,643
生産資材費	々	953
その他直接費	々	830
雇用労働費	々	628
水道光熱費	々	1,649
共済掛金	々	2,029
賃料料金	々	2,342
販売費用	々	1,559
減価償却費	々	6,038
修理費	々	1,543
公課諸負担	々	1,634
雑費事務費	々	283
管理費用	々	462
合計	々	46,657

生産規模

項目	頭数	評価額	減価償却費
単位	頭	千円	千円
経産牛	60	16,788	3,600
育成牛	42	6,380	
計	102	23,168	3,600

項目	面積	収量(10a)	生産量
単位	10a	kg/10a	t
乾草	160	4,300	688
グラスサイレージ	80	4,300	344
コーンサイレージ	60	5,800	348
内草地更新	30		
合計	300		1,380

飼料効率

項目	全体	経産牛	育成(24-13)	育成(12-1)
TDN自給率	52.7%	53.3%	42.9%	48.9%
乳飼比	40.1%	20.7%		
飼料効果	1.4			

項目	単位	合計	乳牛	飼料作物	備考
部門別労働時間	hr	3,739	3,594	145	
家族労働時間	々	3,643	3,498	145	
雇用労働時間	々	96	96		酪農ヘルパー利用
経産1頭当労働時間	々	62	60		飼料作物部門含む
所得/家族労働	円	5,359			々

経営効果 (飼料作物及び育成牛含む)

経産牛1頭当たり収入	1,103千円
経産牛1頭当たり所得	325千円
生乳1kg当たり収入	112.5円
生乳1kg当たり所得	33.2円

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	66,179	
農業経営費	々	47,378	支払利息 721千円
農業所得	々	18,801	
農業利益	々	14,065	家族労働 1,300円/hr
キャッシュフロー	々	19,799	

資産の状況

項目	金額
土地	54,000千円
建物	36,091千円
機械	21,517千円
家畜	13,901千円
計	125,509千円

農業所得率	%	28
農業利益率	%	21

負債の状況

負債残高	24,041千円
------	----------

9 畑作専業経営コントラ利用型（30ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

作物名	合計・平均	濃源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	小豆	にんじん	飼料コーン 受託	休閒緑肥	管理
作付面積(10a)	300	70	80	70	20	10	20	20	10	
収量(kg/10a)	—	4,250	7,600	720	300	270	3,300	5,800		
単価(円/俵・t)	—	1,860	17,000	9,000	19,800	18,000	1,300	6,000		
10a収入(円)	130,613	131,743	129,200	108,000	99,000	81,000	429,000	34,800		

10a所得(千円)	43	27	58	52	54	40	100	6		
比例経費率(%)	67	79	55	51	45	51	77	84		
農業所得率(%)	33	21	45	49	55	49	23	16		
労働時間(hr)	2,210	515	865	85	43	49	326	122	5	200

	(千円)
農業収入	39,184
農業経営費	23,596
農業所得	15,588
農業利益	13,203
キャッシュフロー	19,040

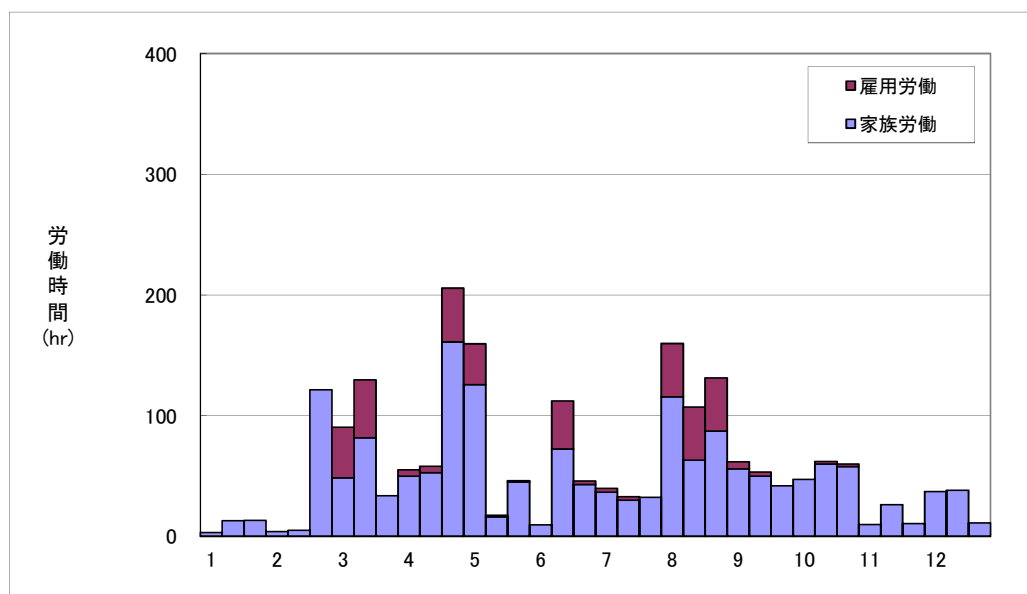
農業所得率	40%
農業利益率	34%

	(千円)
減価償却費	3,452
支払利息	338

	(千円)
資産の状況	
土地	54,000
建物	1,825
機械	18,870
計	74,695

	(hr)
家族労働	1,835
雇用労働	375

	(千円)
負債残高	11,260
売上負債率	29%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	2.5
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	小豆	にんじん	飼料コーン受託	休閑緑肥	管理
主作付面積	10a	300	70	80	70	20	10	20	20	10	
反収	kg		4,250	7,600	720	300	270	3,300	5,800		
生産量	換算		4,958	608	840	100	45	6,600	116		
販売単価	円		1,860	17,000	9,000	19,800	18,000	1,300	6,000		
販売額	千円	39,184	9,222	10,336	7,560	1,980	810	8,580	696		
副産反収	kg										
副産生産量	換算										
副産販売単価	円										
副産販売額	千円										
合計		39,184	9,222	10,336	7,560	1,980	810	8,580	696		

費用の部

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	小豆	にんじん	飼料コーン受託	休閑緑肥	管理
種苗費	千円	2,860	1,702	201	174	99	39	493	99	53	
肥料費	々	3,559	831	1,582	519	93	53	218	253	10	
農薬費	々	2,041	403	591	455	146	66	351	29		
生産資材費	々	613	81	517			15				
その他直接費	々	249	67	88	29	8	4	42	10	1	
雇用労働費	々	375	42	182	3	7	9	132			
水道光熱費	々	533	179	145	63	20	14	62	46	4	
共済掛金	々	518	92	155	172	74	25				
賃料金	々	6,342			1,236	229	59	4,818			
販売費用	々	2,602	1,977	114	268	36	18	189			
減価償却費	々	3,452	1,250	1,242	458	106	71	207	97	21	
修理費	々	1,540	527	652	196	46	23	50	37	9	
公課諸負担	々	574	86	162	279	25	13	3	6		
土地改良費	々										
雑費事務費	々	350									350
管理費用	々	551	66	70	39	9	4	6	6	1	350
合計	々	26,159	7,303	5,701	3,891	898	413	6,571	583	99	700

農業所得	千円	13,025	1,919	4,635	3,669	1,082	397	2,009	113	△ 99	
農業所得率	%	33	21	45	49	55	49	23	16		

項目	単位	合計	澱源馬鈴薯	てんさい	秋まき小麦	大豆	小豆	にんじん	飼料コーン受託	休閑緑肥	管理
収入 / 10 a	千円	1,013	132	129	108	99	81	429	35		
所得 / 10 a	々	43	27	58	52	54	40	100	6	△ 10	
作目別労働時間	hr	2,210	515	865	85	43	49	326	122	5	200
家族労働時間	々	1,835	473	683	82	36	40	194	122	5	200
雇用労働時間	々	375	42	182	3	7	9	132			
労働時間/10 a	々	7.4	7.4	10.8	1.2	2.1	4.9	16.3	6.1	0.5	
所得/家族労働	円	7,098	4,057	6,786	44,744	30,056	9,925	10,356	926	△ 19,800	

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	39,184	
農業経営費	々	23,596	支払利息 338 千円
農業所得	々	15,588	
農業利益	々	13,203	家族労働 1,300 円/hr
キャッシュフロー	々	19,040	

農業所得率	%	40
農業利益率	%	34

資産の状況

項目	金額
土地	54,000 千円
建物	1,825 千円
機械	18,870 千円
計	74,695 千円

負債の状況

負債残高	11,260 千円
------	-----------

10 野菜専業経営型（10ha）

機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	3.0
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

作物名	合計・平均	たまねぎ	ブロッコリ	かぼちゃ						管理
作付面積(10a)	100	50	20	30						
収量(kg/10a)	—	5,000	800	2,000						
単価(円/俵・t)	—	1,700	5,500	610						
10a収入(円)	337,100	425,000	440,000	122,000						

10a所得(千円)	112	130	134	67						
比例経費率(%)	67	69	70	45						
農業所得率(%)	33	31	30	55						
労働時間(hr)	3,887	1,575	920	1,152						240

	(千円)
農業収入	33,710
農業経営費	22,539
農業所得	11,171
農業利益	8,470
キャッシュフロー	12,377

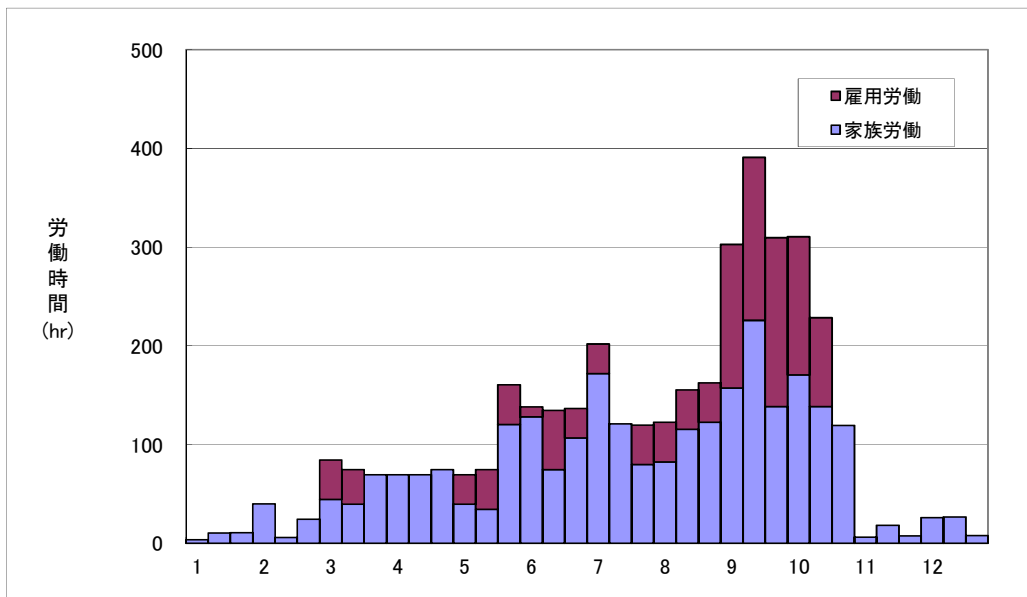
農業所得率	33%
農業利益率	25%

	(千円)
減価償却費	1,206
支払利息	323

資産の状況		(千円)
土地	18,000	
建物	1,206	
機械	19,112	
計	38,318	

家族労働	2,701
雇用労働	1,186

	(千円)
負債残高	10,762
売上負債率	32%



機械所有	1	機械耐用年数	1.5	借地率		労働力	3.0
------	---	--------	-----	-----	--	-----	-----

収入の部

作目名	単位	合計	たまねぎ	ブロッコリー	かぼちゃ				
主作付面積	10a	100	50	20	30				
反収	kg		5,000	800	2,000				
生産量	換算		12,500	1,600	6,000				
販売単価	円		1,700	5,500	610				
販売額	千円	33,710	21,250	8,800	3,660				
副反収	kg								
生産量	換算								
販売単価	円								
販売額	千円								
合計		33,710	21,250	8,800	3,660				

費用の部

項目	単位	合計	たまねぎ	ブロッコリー	かぼちゃ				
種苗費	千円	1,740	1,230	271	239				
肥料費	々	1,517	1,015	195	307				
農薬費	々	656	543	113					
生産資材費	々	1,283	969	167	147				
その他直接費	々	158	84	29	45				
雇用労働費	々	1,186	556	210	420				
水道光熱費	々	329	215	52	62				
共済掛金	々	343	240		103				
賃料料金	々	13,050	8,250	4,800					
販売費用	々	707	468	158	81				
減価償却費	々	1,206	1,008	63	135				
修理費	々	208	121	43	44				
公課諸負担	々	126	49	21	56				
土地改良費	々								
雑費事務費	々								
管理費用	々	30	17	5	8				
合計	々	22,539	14,765	6,127	1,647				

農業所得	千円	11,171	6,485	2,673	2,013				
農業所得率	%	33	31	30	55				

項目	単位	合計	たまねぎ	ブロッコリー	かぼちゃ				管理
収入 / 10 a	千円	987	425	440	122				
所得 / 10 a	々	112	130	134	67				
作目別労働時間	h r	3,887	1,575	920	1,152				240
家族労働時間	々	2,701	1,019	710	732				240
雇用労働時間	々	1,186	556	210	420				
労働時間/10 a	々	38.9	31.5	46.0	38.4				
所得/家族労働	円	4,136	6,364	3,765	2,750				

農業収支の総括

項目	単位	金額	摘要
農業収入	千円	33,710	
農業経営費	々	22,539	支払利息 323 千円
農業所得	々	11,171	
農業利益	々	8,470	家族労働 1,000 円/hr
キャッシュフロー	々	12,377	

農業所得率	%	33
農業利益率	%	25

資産の状況

項目	金額
土地	18,000 千円
建物	1,206 千円
機械	19,112 千円
計	38,318 千円

負債の状況

負債残高	10,762 千円
------	-----------

第10期小清水町農業振興計画

令和4年4月

発行 小清水町 産業課